

1. 市立学校の概要

1 - 1 市立小中学校一覧

	学 校 名	所 在 地	電 話	校 長	通常の学級		特別支援学級		教員数
					学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	
小 学 校	第一小学校	吉祥寺本町4-17-16	22-1421	新井 保志	14	439			22
	第二小学校	境4-2-15	51-4478	大沢 武弘	14	423			22
	第三小学校	吉祥寺南町2-35-9	43-2322	伊野 啓子	13	422	2	11	25
	第四小学校	吉祥寺北町2-4-5	22-1423	榛原 紀子	15	400			31
	第五小学校	関前3-2-20	51-2196	嶋田 晶子	14	457			22
	大野田小学校	吉祥寺北町4-11-37	51-0511	藤橋 義之	24	745	5	27	41
	境南小学校	境南町2-27-27	32-3401	宮崎倉太郎	18	536	4	22	32
	本宿小学校	吉祥寺東町4-1-9	22-4723	安部 忍	13	378			21
	千川小学校	八幡町3-5-25	51-3695	河村 祐好	12	282			21
	井之頭小学校	吉祥寺本町3-27-19	51-7188	赤羽 幸子	16	504			30
	関前南小学校	関前3-37-26	53-7655	加藤 聖記	12	329			21
	桜野小学校	桜堤1-8-19	53-5125	金子 圭子	27	941	4	通級	53
小 計					192	5,856	15	60	341
中 学 校	第一中学校	中町3-9-5	51-8041	中嶋建一郎	9	284	1	通級	21
	第二中学校	桜堤1-7-31	52-2148	菅野由紀子	12	411	3	通級	26
	第三中学校	吉祥寺東町1-23-8	22-1426	河合 雅彦	9	298			19
	第四中学校	吉祥寺北町5-11-41	51-7675	竹山 正弘	12	415	4	25	32
	第五中学校	関前2-10-20	52-0421	刀根 武史	7	201			17
	第六中学校	境3-20-10	53-6311	若槻 善隆	6	207	1	1	16
小 計					55	1,816	9	26	131
合 計					247	7,672	24	86	472

※数値は学校基本調査（令和元年5月1日現在）による。

※通級の児童・生徒数については、通常の学級の児童・生徒数に含む。

1 - 2 児童・生徒数、学級数

①児童・生徒数

各年度5月1日現在 (単位:人)

学校名 \ 年度		27	28	29	30	元
小 学 校	第一小学校	397	394	413	421	439
	第二小学校	397	407	395	407	423
	第三小学校	450	435	432(8)	440(10)	422(11)
	第四小学校	364	368	353	373	400
	第五小学校	401	422	426	432	457
	大野田小学校	694(28)	738(30)	750(30)	757(34)	745(27)
	境南小学校	515(27)	511(25)	525(19)	516(17)	536(22)
	本宿小学校	318	339	350	375	378
	千川小学校	284	297	306	307	282
	井之頭小学校	399	430	451	495	504
	関前南小学校	280	274	263	291	329
	桜野小学校	828	862	909	924	941
小 計		5,327(55)	5,477(55)	5,573(57)	5,738(61)	5,856(60)
中 学 校	第一中学校	323	302	294	272	284
	第二中学校	334	356	368	395	411
	第三中学校	331	326	329	301	298
	第四中学校	380(18)	369(17)	404(19)	407(19)	415(25)
	第五中学校	228	245	244	237	201
	第六中学校	197(1)	198(1)	202(0)	207(0)	207(1)
小 計		1,793(19)	1,796(18)	1,841(19)	1,819(19)	1,816(26)
合 計		7,120(74)	7,273(73)	7,414(76)	7,557(80)	7,672(86)

- ・()内の数は特別支援学級の児童・生徒数で外数
- ・平成29年度に第三小学校に知的障害特別支援学級(ひまわり学級)を開設
- ・平成29年度より第四小学校、井之頭小学校、桜野小学校の情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に移行

②学級数

各年度5月1日現在

学校名 \ 年度		27	28	29	30	元	
小 学 校	第一小学校	12	12	13	14	14	
	第二小学校	13	14	13	13	14	
	第三小学校	13	13	13(1)	14(2)	13(2)	
	第四小学校	13(5)	12(6)	12	13	15	
	第五小学校	13	13	14	13	14	
	大野田小学校	20(4)	22(4)	22(4)	23(5)	24(5)	
	境南小学校	16(5)	16(5)	17(4)	17(4)	18(4)	
	本宿小学校	12	12	12	12	13	
	千川小学校	12	12	12	12	12	
	井之頭小学校	14(2)	14(2)	15	15	16	
	関前南小学校	11	11	11	11	12	
	桜野小学校	24(7)	26(7)	26(3)	27(4)	27(4)	
	小 計		173(23)	177(24)	180(12)	184(15)	192(15)
	中 学 校	第一中学校	9(1)	9(1)	9(1)	9(1)	9(1)
第二中学校		9(2)	10(2)	11(2)	11(2)	12(3)	
第三中学校		10	10	9	9	9	
第四中学校		11(3)	11(3)	12(4)	12(4)	12(4)	
第五中学校		7	7	7	7	7	
第六中学校		6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	
小 計		52(7)	53(7)	54(8)	54(8)	55(9)	
合 計		225(30)	230(31)	234(20)	238(23)	247(24)	

・（ ）内の数は特別支援学級の学級数で外数

③ 令和元年度 児童・生徒数及び学級数

【通常の学級・特別支援学級（固定学級）】

令和元年5月1日現在

学年 学校名	1			2			3			4			5			6			小計			特別支援学級 (固定学級)			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一小学校	48	36	84	50	28	78	39	38	77	28	32	60	38	38	76	35	29	64	238	201	439				238	201	439
学級数	3			3			2			2			2			2			14						14		
第二小学校	39	42	81	36	37	73	24	26	50	45	33	78	31	32	63	43	35	78	218	205	423				218	205	423
学級数	3			3			2			2			2			2			14						14		
第三小学校	32	34	66	45	32	77	40	28	68	45	30	75	37	27	64	41	31	72	240	182	422	9	2	11	249	184	433
学級数	2			3			2			2			2			2			13			2			15		
第四小学校	48	23	71	42	39	81	34	27	61	27	28	55	27	22	49	40	43	83	218	182	400				218	182	400
学級数	3			3			2			2			2			3			15						15		
第五小学校	47	38	85	31	34	65	44	39	83	39	39	78	37	33	70	43	33	76	241	216	457				241	216	457
学級数	3			2			3			2			2			2			14						14		
大野田小学校	53	53	106	55	61	116	63	61	124	76	65	141	61	63	124	67	67	134	375	370	745	21	6	27	396	376	772
学級数	4			4			4			4			4			4			24			5			29		
境南小学校	54	52	106	45	42	87	45	43	88	38	48	86	40	37	77	52	40	92	274	262	536	18	4	22	292	266	558
学級数	4			3			3			3			2			3			18			4			22		
本宿小学校	28	25	53	37	36	73	31	31	62	25	38	63	34	29	63	26	38	64	181	197	378				181	197	378
学級数	2			3			2			2			2			2			13						13		
千川小学校	24	24	48	14	25	39	26	18	44	28	20	48	31	27	58	24	21	45	147	135	282				147	135	282
学級数	2			2			2			2			2			2			12						12		
井之頭小学校	44	44	88	44	49	93	44	48	92	37	33	70	51	32	83	35	43	78	255	249	504				255	249	504
学級数	3			3			3			2			3			2			16						16		
関前南小学校	42	26	68	37	28	65	33	19	52	24	17	41	25	25	50	29	24	53	190	139	329				190	139	329
学級数	2			2			2			2			2			2			12						12		
桜野小学校	83	79	162	81	70	151	92	82	174	73	78	151	81	73	154	71	78	149	481	460	941				481	460	941
学級数	5			5			5			4			4			4			27						27		
小学校計	542	476	1018	517	481	998	515	460	975	485	461	946	493	438	931	506	482	988	3058	2798	5856	48	12	60	3106	2810	5916
学級数	36			36			32			29			29			30			192			11			203		
第一中学校	52	49	101	41	51	92	50	41	91										143	141	284				143	141	284
学級数	3			3			3												9						9		
第二中学校	67	65	132	79	70	149	58	72	130										204	207	411				204	207	411
学級数	4			4			4												12						12		
第三中学校	61	44	105	46	46	92	57	44	101										164	134	298				164	134	298
学級数	3			3			3												9						9		
第四中学校	81	63	144	77	59	136	76	59	135										234	181	415	19	6	25	253	187	440
学級数	4			4			4												12			4			16		
第五中学校	19	26	45	35	26	61	40	55	95										94	107	201				94	107	201
学級数	2			2			3												7						7		
第六中学校	38	27	65	45	25	70	39	33	72										122	85	207	1	0	1	123	85	208
学級数	2			2			2												6			1			7		
中学校計	318	274	592	323	277	600	320	304	624										961	855	1816	20	6	26	981	861	1842
学級数	18			18			19												55			5			60		
総計																			4019	3653	7672	68	18	86	4087	3671	7758
学級数																			247			16			263		

【特別支援学級（通級指導学級）・特別支援教室】

種別	難聴 通級指導学級			言語障害 通級指導学級			特別支援教室			難聴 通級指導学級			情緒障害等 通級指導学級		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
設置校	桜野小学校			桜野小学校			全小学校			第一中学校			第二中学校		
児童・生徒数	5	3	8	34	16	50	167	54	221	4	5	9	20	3	23
学級数	1			3						1			3		

*通級指導学級・特別支援教室の児童・生徒は、通常の学級に学籍がある。

1 - 3 教員配置定数の推移

各年度 5 月 1 日現在 (単位:人)

学 校 名		年 度									
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
小 学 校	第一小学校	18	18	18	18	18	18	18	19	20	20
	第二小学校	19	20	20	20	20	19	20	19	19	20
	第三小学校	21	21	22	21	20	19	19	21	23	22
	第四小学校	22	22	23	24	24	25	24	24	28	30
	第五小学校	19	19	20	19	20	20	19	20	19	20
	大野田小学校	32	33	33	32	34	33	35	36	38	39
	境南小学校	29	27	26	27	30	29	29	29	30	30
	本宿小学校	15	15	15	16	16	18	18	18	19	19
	千川小学校	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19
	井之頭小学校	18	18	18	18	19	19	23	25	26	29
	関前南小学校	16	16	16	16	16	17	17	17	17	19
	桜野小学校	33	32	34	39	40	41	44	43	49	49
小 計		260	259	263	268	275	276	284	289	306	316
中 学 校	第一中学校	20	21	22	22	21	22	20	20	20	21
	第二中学校	22	22	22	24	24	24	24	25	25	26
	第三中学校	21	21	22	22	21	21	21	19	19	19
	第四中学校	29	27	28	26	26	25	25	28	28	29
	第五中学校	20	19	19	16	18	19	19	17	17	17
	第六中学校	19	20	20	20	20	17	18	17	16	16
小 計		131	130	133	130	130	128	127	126	125	128
合 計		391	389	396	398	405	404	411	415	431	444

- ・産休・育休代替教員、充て指導主事、休職者、教員研究生、日本人学校派遣教員、非常勤教員等は除く。
- ・指導方法の工夫改善に伴う加配措置を含む(平成14年度から)。
- ・この他「学習指導員」及び「市費負担講師」の数は以下のとおり。

第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小
2	2	5	1	3	2	0	2	0
井之頭小	関前南小	桜野小	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
2	2	1	1	3	0	2	1	4

令和元年 6 月 1 日現在 (委嘱数) (単位:人)

1 - 4 学区域

昭和22年11月の市制施行時における公立小中学校の数は、小学校が5校、中学校は1校であったがその後の学齢人口の増加に伴う学校新設ごとに学区域の調整を行い、平成8年4月を最後に現在の学区域に至ります。なお、学区域の指定は、学校教育法施行令第5条第2項の規定に基づき、武蔵野市立学校学区に関する規則を制定して行っています。

武蔵野市立学校学区域表

平成8年4月1日から適用

学校名	町名・丁目	番・(号)
第一小学校	吉祥寺本町	1 1～11
		2 1～20 24～34
		4 全域
	中町	3 全域
第二小学校	関前	5 全域
	境	1 全域
		2 1～21
		3 全域
4 16を除く全域		
第三小学校	吉祥寺南町	1～5 全域
第四小学校	吉祥寺東町	1 1～6
		2 1～21
	吉祥寺北町	1 全域
		2 全域
		3 1～4
		10 (1～12・47～79) 11～14 15 (1～3・20～34)
第五小学校	西久保	1～3 全域
	関前	3 2～5
大野田小学校	吉祥寺北町	3 5～9 10 (13～46) 15 (4～19) 16・17
		4 全域
		5 全域
		1 1～3
	緑町	1 4～8 ※1
		2 1～3
		3 全域
境南小学校	境南町	1～5 全域
本宿小学校	吉祥寺東町	1 7～25
		2 22～45
		3 全域
		4 全域
	吉祥寺本町	1 12～38
千川小学校	緑町	2 4～6
	八幡町	1～4 全域
井之頭小学校	御殿山	1～2 全域
	吉祥寺本町	2 21～23 35
		3 全域
	中町	1～2 全域
関前南小学校	関前	1 全域
		2 全域
		3 1 6～41
		4 全域
桜野小学校	境	2 22 ※2
		2 23～27
		4 16
		5 全域
	桜堤	1～3 全域

学校名	町名・丁目	番・(号)
第一中学校	御殿山	1～2 全域
	吉祥寺本町	1 1～11
		2 全域
		3 全域
		4 全域
	中町	1～3 全域
第二中学校	境	2 22 ※3
		2 23～27
		4 16
		5 全域
		境南町
	桜堤	1～3 全域
第三中学校	吉祥寺東町	1～4 全域
	吉祥寺南町	1～5 全域
	吉祥寺本町	1 12～38
	吉祥寺北町	1 1～14 2 1～6
第四中学校	吉祥寺北町	1 15～31
		2 7～21
		3 全域
		4 全域
		5 全域
	緑町	1～3 全域
第五中学校	八幡町	1～4 全域
	西久保	1～3 全域
	関前	1～4 全域
第六中学校	関前	5 全域
		1 全域
		2 1～21
		3 全域
	境南町	4 16を除く全域 1～2 全域

※1 緑町1丁目4番～8番については、令和2年度から千川小学校の学区に変更

※2 境2丁目22番については、令和2年度から第二小学校の学区に変更

※3 境2丁目22番については、令和2年度から第六中学校の学区に変更

1 - 5 学校施設概要一覧

令和元年6月1日現在

学校名	敷地面積 (㎡)	校 舎		体 育 館		プ ー ル		備 考
		建築年月	保有面積 (㎡)	建築年月	保有面積 (㎡)	築造年度	規模 (m)	
第一小学校	10,342	昭和44. 3	4,506	昭和44. 10	702	昭和35	25×10	
第二小学校	8,979	昭和43. 3	5,032	昭和43. 3	732	昭和43	25×10	
第三小学校	11,990 <small>体育館棟敷地含む</small>	昭和45. 3 昭和49. 2	4,972	昭和43. 3 昭和62. 7	1,503	昭和62	25×10	体育館2棟有り
第四小学校	13,045	昭和47. 5 昭和53. 11	6,202	昭和44. 3	741	昭和36	25×10	
第五小学校	9,320	昭和36. 3 昭和48. 3	5,959	昭和47. 5	869	昭和37	25×10	
大野田小学校	15,052	平成17. 3 平成30. 3	11,273	昭和55. 3	1,261	平成17	25×11	
境南小学校	15,386	昭和47. 3 昭和51. 3	8,166	昭和51. 7	677	昭和51	25×10	借地分 56㎡
本宿小学校	11,482	昭和53. 9	6,796	昭和54. 3	795	昭和53	25×10	
千川小学校	10,715	平成 7. 3	8,061	平成8. 10	1,525	平成 7	25×10	自然体験園 観察小屋含む
井之頭小学校	9,987	昭和49. 11	6,181	昭和62. 2	2,209	昭和61	25×11	
関前南小学校	12,025	昭和46. 5	3,699	昭和46. 5	771	昭和46	25×10	
桜野小学校	13,212	昭和52. 4 平成14. 3 平成22. 8 平成27. 3	9,260	平成14. 3	1,399	昭和42	25×10	
小学校計	141,535	—	80,107	—	13,184	—	—	
第一中学校	15,520	昭和38. 9 昭和59. 3	7,749	昭和57. 11	2,111	昭和57	25×11	借地分 15,520㎡
第二中学校	15,138	昭和43. 2	6,026	昭和59. 11	2,829	昭和33	25×13	
第三中学校	15,660	昭和47. 3 昭和58. 3	6,864	昭和58. 3	2,216	昭和57	25×11	
第四中学校	20,910	昭和51. 8 平成 3. 6	12,074	平成 4. 6	3,322	平成 4	25×11	借地分 4,433㎡
第五中学校	19,041	昭和36. 3 昭和49. 7	5,400	昭和39. 3	1,298	昭和59	25×11	
第六中学校	11,989	昭和46. 3 昭和56. 3	6,132	昭和47. 2	1,100	昭和55	25×10	借地分 56㎡
中学校計	98,258	—	44,245	—	12,876	—	—	
合 計	239,793	—	124,352	—	26,060	—	—	

第一小学校



校長 新井 保志 副校長 朝井 貴世

所在地 吉祥寺本町4-17-16

TEL 0422(22)1421

FAX 0422(23)0394

H P <http://dail-e.musashino-city.ed.jp/>

《主な沿革》

- 明治 6年 研礎学舎と称し、安養寺に創設
 8年 吉祥寺小学校と改称
 26年 武蔵野村吉祥寺尋常小学校に改称
 44年 現在地へ校舎新築、移転。武蔵野村第一尋常小学校と改称し、開校記念日とする。
- 昭和 10年 校歌制定（野口雨情作詞、藤井清水作曲）
 16年 武蔵野第一国民学校と改称
 22年 市制施行により武蔵野市立武蔵野第一小学校と改称
 三石館（旧体育館）落成、現在の校章が決まる。
 30年 特殊学級（むらさき学級）開設（昭和47年第四小学校に移設）
 35年 開校50周年記念式典を挙行、国旗掲揚塔、石炭置場新設
 36年 武蔵野市立第一小学校と校名変更、プール完成
 44年 鉄筋コンクリート四階建現校舎落成、体育館落成
 60周年及び校舎落成記念式典を挙行
 49年 訪問学級開設（昭和60年3月閉級）
 54年 文部省より保健体育優良校として表彰
 55年 70周年（開校107周年）記念式典を挙行、校庭遊具6基新設
 58年 開校110周年記念式典を挙行
 63年 学校施設開放運営委員会発足遊び場開放実施
- 平成 5年 開校120周年記念式典を挙行
 15年 東京都人権尊重教育推進校・武蔵野市教育研究校として発表会開催
 開校130周年記念式典挙行
 16年 ビオトープ完成
 20年 武蔵野市教育研究校として発表会開催、校庭一部芝生化
 21年 校舎棟耐震補強工事
 25年 武蔵野市教育課題研究開発校（環境教育）として発表会開催
 開校140周年記念式典挙行
 26年 「のびのびルーム」新設工事 吹奏楽団、東日本学校吹奏楽大会銀賞受賞
 27年 プール漕等塗装工事
 28年 特別支援教室「かわせみ教室」新設工事、第10回むさしの教育フォーラム ～セカンドスクール20年を迎えて～「小・中学校合同セカンドスクール報告会」
 29年 第二子どもクラブ教室新設工事
 吹奏楽団東日本学校吹奏楽大会金賞、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞
 平成28・29年武蔵野市教育研究奨励校発表（算数）
- 30年 平成30・31年武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）
 校舎棟屋上防水改修工事、汚水枘改修工事
 吹奏楽団東日本学校吹奏楽大会金賞、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞
- 31年 平成30・31年武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）2年次
 体育館空調設置工事、保健室シャワー設置工事、4階ミシン室普通教室化工事

《教育目標》

○自分も人も大切にする子 ◎自ら学ぶ子（重点目標） ○健康な子

《学校の教育目標を達成するための基本方針》

ア 「自分も人も大切にする子」を育成するために

- ①全教育活動を通して人権教育を推進するとともに道徳教育の充実を図り、教職員の人権感覚を高め、児童一人一人に高い自己肯定感と豊かな心や感性、命や思いやりを大切にすることを育む。
- ②家庭や関係諸機関との連携及び教育相談体制の充実を図り、特別支援教育の推進に努める。また、児童を取り巻くさまざまな課題に対応するために、いじめを含む諸問題の未然防止と早期発見・対応及び児童理解に努め、組織的な指導・対応にあたる。

イ 「自ら学ぶ子」を育成するために

- ①教職員相互が連携、協力し合い学級・学年経営力・組織力を高めると共に、児童との確かな信頼関係を築き、本校のきまりと望ましい学習規律・規範意識が定着した学校生活を確立させる。
- ②主体的に学習に取り組む態度の育成と学習習慣の確立を通して基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。それらを活用して課題を解決し主体的・対話的で深い学びに結び付く言語活動を各教科等において充実させることにより思考力・判断力・表現力等を育む学習活動を推進する。

ウ 「健康な子」を育成するために

- ①生涯を通じて健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力・運動能力の向上と心身の健康づくりに向け、意図的・計画的に体育の授業を進めるとともに運動量の十分な確保に取り組む。
- ②体験的な活動や異学年集団における協働により、協力し合う心やねばり強く取り組む心と、望ましい人間関係を大切にしながら主体的に課題解決を図る力を育む。

《特色ある教育活動》

ア 人権について理解し「自分も人も大切にする子」を育成するため、全教育活動を通して人権教育を推進する。発達段階に合わせて、社会、道徳、総合的な学習の時間等を中心に人権教育プログラムの指導事例などを活用した授業を行う。また、児童一人一人の個性や能力が発揮できる場を設定し、集団の一員として認められているという実感をもたせる。

◎イ 小学校外国語教育を中心として校内研究を充実させ、指導力の一層の向上を図る。市の英語教育推進アドバイザーを積極的に活用し、児童及び各家庭の英語・外国語活動への関心を高める。

ウ 日々の音楽授業や音楽集会・小さな音楽会の取組、また吹奏楽団の活動を通して、演奏する楽しさや鑑賞する喜びを味わわせながら豊かな情操を育てる。

エ 体力・運動能力に関わる調査結果を踏まえ、体力向上に関する一校一取組として、「投げる力」の育成に継続的に取り組む。また、体育朝会と併せて実施する大縄跳び・短縄跳び・持久走週間により、児童の運動能力の向上を図る。

オ オリピック・パラリンピック教育に関する全体計画及び各学年の年間指導計画に基づき、「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「豊かな国際感覚」の育成を促進する。4つのテーマと4つのアクションを組み合わせた活動を計画し、オリピック・パラリンピック学習ノート等を活用する。また茶道・華道・剣道等の体験活動を通して日本の伝統的文化の魅力を認識し、外国と日本の文化の違いについて進んで考えようとする態度を育てる。

カ 第5学年で総合的な学習の時間に防災の単元を位置付け、自助・公助の意識や技能の向上を図る活動に保護者や地域の方々とともに取り組む。地域の合同防災訓練に参加し、災害時の対応や日常的な備え、実践的な応急救護の実技について学ぶ。また、全学年の安全指導年間計画に「防災ノート」を活用した防災教育を位置付ける。

◎キ 地域コーディネーターの協力を得て、施設や人、行事を教材化し、全教育活動に渡って取り上げ、地域を愛する心情や国際理解・伝統文化に関する理解を深めるとともに、協働意識の醸成と地域社会と積極的に関わり貢献しようとする市民性を高める教育を推進する。

ク 開かれた学校経営を進めるため、学校だよりやホームページ等により学校評価や教育課程等の諸情報を発信する。また緊急メール配信により、非常時及び必要に応じての情報提供を随時行い、各家庭・地域等との一層の連携を図る。

◎ケ 小学校生活をスムーズにスタートできるようにするため、入学前に幼稚園・保育園と情報共有を綿密に行い児童理解を深める。入学直後の適応指導に14時間計上し「武蔵野スタートカリキュラム」を活用した小1プロブレムの早期対応と解決を図る。また中学校とは「小・中学校合同研修会」でテーマごとに共通理解を深めるとともに、小中学生の交流の場を計画的に設定することで、社会参画意識の長期的醸成を図る。

第二小学校



校長 大沢 武弘 副校長 浅見 優子

所在地 境4-2-15
TEL 0422 (51) 4478
FAX 0422 (55) 5027
H P <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou002>

主な沿革

- 明治 6年 本校の前身「栄境学舎」を曹洞宗観音院の一室に開設
8年 杵築大社の境内に移転、「境学校」と改名
18年 「隆明小学校」と改名
44年 東京府武蔵野村立武蔵野第二尋常小学校と改名（3学級） 4月15日を開校記念日と定める
- 昭和 36年 東京都武蔵野市立第二小学校と改名
43年 新校舎竣工、旧校舎より移転（現在地に移る）
- 平成 5年 開校120周年記念式典挙行（「栄境学舎」開校以来）
7年 文部省道徳教育推進校・市教育研究校研究発表
10年 武蔵野市教育研究校研究発表（算数）
14年 武蔵野市教育研究校研究発表「よりよく生きる児童の育成～心と体の健康づくり～」
15年 開校130周年記念式典・祝賀会挙行（「栄境学舎」開校以来）
18年 武蔵野市教育委員会教育研究校発表 研究主題「よりよく生きる児童を育てる」
20年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校研究発表（生活科・理科）
校舎耐震補強工事
21年 太陽光パネル設置工事 体育館屋根改修工事 校庭遊具「うんてい」「丸太ステップ」設置
22年 保護者・地域対象の研究報告会（生活科・理科）
25年 開校140周年記念式典・祝賀会挙行
26年 武蔵野市教育研究奨励校発表「健康について関心をもち自ら考え行動する子供の育成～体育・食育を通して～」
27年 校庭雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事、体育館南側複合遊具撤去工事
28年 平成28年度武蔵野市教育委員会教育研究奨励校 研究主題「相手を思いやり、自ら進んで実践する子供の育成」～道徳教育を通して～
29年 東京都道徳教育推進拠点校及び武蔵野市教育研究奨励校研究発表 研究主題「相手を思いやり、自ら進んで実践する子供の育成」～道徳教育を通して～
30年 開校145周年記念集会挙行

教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、感性と知性に富み、心身ともに健やかで、人間性豊かな児童を育成する。

◎やさしく ○かしこく ○たくましく

特色ある教育活動

- ① 校内委員会を中核とし、特別支援コーディネーター、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、派遣相談員や専門家スタッフの連携を密に特別支援教育の充実を図る。また、学校生活支援シート(個別の教育支援計画)や個別指導計画に基づき特別支援教室と密に連携を図りながら、共通理解して指導や支援を行う。また、個別支援教室での指導を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体得し、進んで学習する意欲を育てる。
- ② 縦割りの「なかよしグループ」による集会活動や班遊びなどの活動を充実し、異年齢児童相互の交流を深め、思いやりの心やリーダー性を育てる。
- ③ 地域の環境(商店街、公共施設、武蔵野ふるさと歴史館、しろがね公園、独歩の森、玉川上水など)を生活科・社会科・理科・総合的な学習の時間などを中心とした教育活動に積極的に活用する。
- ④ 学校図書館担当教員等を中心に、学校図書館サポーターと連携して、読書環境の一層の充実を図る。また、毎週火曜日の「朝読書」、保護者ボランティアによる読み聞かせ、読書旬間の実施など、読書活動を一層推進し、読書習慣の定着・向上を図る。さらに、毎週水曜日の「ことばの学習タイム」の活動を充実させ「言語感覚」を育成する。
- ⑤ セカンドスクールやプレセカンドスクールでは、そのねらいを十分踏まえ、教育課程の全体のバランスを考慮したプログラムを作成し、体験活動の一層の充実を図る。体験活動を通して視野を広げるとともに、人への思いやりや感謝の気持ち、自然に対する畏敬の念を育む。
- ⑥ 郷土の伝統芸能「むさしのばやし」や「箏」に取り組み、日本の伝統・文化を大切にする心情や、武蔵野の郷土を愛する心情を育てる。また、課外の吹奏楽クラブの活動を通して、音楽的な情操を高めるとともに生涯にわたって音楽に親しむ基礎を培う。
- ⑦ 高齢者や地域関係機関、幼稚園・保育園などとの交流活動を通して、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図り、地域社会の一員としての自覚を促す。



第三小学校

校長 伊野 啓子 副校長 小泉 裕樹 細谷 祐造

所在地 吉祥寺南町 2-35-9
TEL 0422 (43) 2322
FAX 0422 (43) 9481
HP <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou003>

主な沿革

- 昭和5年 武蔵野町立第三尋常小学校として開校
22年 武蔵野市立第三小学校と校名変更
45年 鉄筋校舎落成・創立40周年記念式典
- 平成2年 文部省教育課程研究指定校・市教育研究校として発表
5年 文部省調査研究協力校・市教育研究校として発表
14年 東京都教育委員会職員表彰学校賞受賞、東日本学校吹奏楽大会（仙台）大賞受賞
15年 東日本学校吹奏楽大会（新潟）金賞受賞
16年 文部科学省・東京都教育委員会指定学力向上フロンティアスクール、
国立教育政策研究所教育課程研究指定校、市教育委員会特別教育研究校として
研究発表
17年 文部科学省・東京都教育委員会指定学力向上フロンティア事業推進校
18年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表、東京都教育委員会児
童生徒表彰受賞
19年 武蔵野市教育委員会授業力向上研究指定校として研究発表
20年 武蔵野市教育委員会研究奨励校として研究発表
21年 東京都確かな学力向上実践研究推進校
校舎耐震補強工事、第15回日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞受賞
22年 創立80周年記念式典、東京都確かな学力向上実践研究推進校研究協議会実施
23年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校
24年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校研究協議会実施
25年 武蔵野市教育委員会教育奨励校として研究発表
26年 第29回時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞
27年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、
東京都教育委員会理数フロンティア校
28年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨
励校として発表
29年 特別支援学級ひまわり学級開設 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
30年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨
励校として発表
- 令和元年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校

教育目標

本校の開校以来の校訓「松のようにたくましく、桜のようにうつくしく、こぶしのように清らかに」を踏まえて、本校の教育目標を設定する。人間尊重の精神に基づき、心豊かな知性と感性、道徳心や体力を育み、時代の変化に主体的に対応できる個性・能力を伸ばす教育を推進する。そのために、次のような目指す子ども像を掲げる。

- ◎思いやりのある子ども（重点目標） ○よく学び考える子ども
○明るく元気な子ども ○進んではたらく子ども

特色ある教育活動

- ① 「人権標語」「人権メッセージ」「なかよしの木」の取組等を通して、人権教育の推進を図り、一人一人の人権意識を高める。
- ② すべての教職員が人権感覚を磨くとともに、学校生活全体における言語環境を十分に整え、教職員と児童との確かな信頼関係を確立する。
- ③ 各教科での問題解決学習を全校で行い、児童が自ら課題をもち考え、学び合って解決を図り、その課程を振り返り、多様な考えを取り入れたり、学んだ事を生活に生かそうとしたりする深い学びを推進する。
- ④ 展覧会や学校文集の取組や授業での学び合いを通して、他者理解の機会を充実させ、児童の豊かな感性を育てる。
- ⑤ ひまわり学級児童や副籍児童との交流を行事や授業、遊びを通して行い、特性を理解し、違いを認め合い、思いやりをもって接することができるようにする。
- ⑥ 「音楽朝会」やその練習、各種行事での歌の指導を通して、音楽活動への意欲を高め、音楽を愛好する心情を育てるとともに、豊かな人間関係を目指す。
- ⑦ ICT機器を活用した授業を推進し、情報化社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度を育み、系統的な情報モラル教育を展開する。
- ⑧ 市民性を高める教育を推進するために、地域の人材や「武蔵野市のいま・むかし」などを活用し、歴史・文化等、地域から学ぶ機会を充実させる。各教科において横断的に、「自立」「協働」「社会参画」をキーワードとした市民性を高める教育を推進する。
- ⑨ 「吹奏楽団」の活動を生かして音楽的情操の向上を図り、地域との交流の架け橋とする。
- ⑩ 給食についての栄養士や調理員からの栄養指導により食事への関心を高め、感謝の気持ちをもたせる。また、セカンドスクールやプレセカンドスクールでは生産者とかかわり、農業体験をすることを通して、食事の重要性や食文化と食物の大切さを理解し、食物生産にかかわる人々への感謝の心を育む。
- ⑪ 低学年で年間5時間の国際理解教育を計画し、外国語指導助手（ALT）とコミュニケーションを図ることにより、外国の文化に親しむ態度の素地を養う。
- ⑫ 災害時に自ら適切な対応がとれるよう、現実に即した避難訓練、不審者対応訓練、第6学年対象の救命講習・応急救護訓練を行い、防災・防犯意識を高める指導をする。
- ⑬ 通学路ウォッチング、キッズセーフティパーク、自転車安全教室、CAP、地区班下校、地域安全マップづくり等の活動を通し、危険回避能力を身に付けさせるとともに家庭・地域との連携を図り、安全を確保する。
- ⑭ ビオランドを活用した自然観察活動やプレセカンドスクール、セカンドスクール、日光移動教室などにおける自然体験を通して、環境や自然と人間とのかかわりについて理解を深めるとともに、環境保全に向けて児童が主体的に行動する態度を育む。
- ⑮ オリンピアン・パラリンピアンとの交流を通してパラスポーツや様々な運動を体験し、スポーツへの理解を深めるなど、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

第四小学校



校長 榛原 紀子 副校長 杉谷 努

所在地 吉祥寺北町2-4-5
TEL 0422(22)1423
0422(22)1443 (はなみずき教室)
FAX 0422(22)7022
0422(22)1443 (はなみずき教室)
HP <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou004>

主な沿革

- 昭和 16年 東京府北多摩郡武蔵野町第四国民学校として開校
22年 東京都武蔵野市立武蔵野第四小学校と校名の変更
30年 北校舎6教室落成、二部授業解消
36年 プール完成
44年 体育館落成
47年 新校舎完成(鉄筋4階、一部地下)
50年 武蔵野市立第四小学校と校名変更
53年 校舎増築完成(鉄筋2階)
- 平成 3年 開校50周年記念式典
10年 市教育研究校として発表(国語)
12年 北校舎改修完了・コンピュータルルーム設置
13年 開校60周年記念式典
14年 市教育研究校として発表(総合的な学習の時間・生活科)・ビオトープ完成
16年 太陽光発電装置設置・市教育研究校として発表(算数)
18年 校庭雨水貯留槽設置・体育館床改修工事・南校舎外壁塗装・
アスベスト除去工事実施
19年 4月10日通級指導学級「はなみずき学級」開級
8月校庭整備工事終了 11月市教育研究校として発表(国語)
21年 北校舎棟(東棟・西棟)耐震補強工事
23年 開校70周年記念式典 市教育課題研究開発校として発表(ICT活用)
25年 体育館天井改修及び照明更新工事
26年 東京都教育委員会言語能力向上拠点校、市教育委員会教育課題研究開発校
27年 東京都教育委員会言語能力向上拠点校、市教育委員会教育課題研究開発校として発表
28年 東京都教職員表彰 読書活動の推進等
29~30年 市教育委員会小中連携教育研究協力校
30年 「くすのき」教室開設

教育目標

一人一人の子供たちを家庭や地域とともに大切に育てることができる学校。
本校の象徴であるヒマラヤスギのように大地に根を張り、絶えず向上しようとする意志と真理を追究する精神を兼ね備えた人間性豊かな児童を全ての教職員がチームワークよく育成できる学校。

○たくましい子 ○よく考える子 ◎思いやりがある子 ○進んで働く子

特色ある教育活動

- ① コミュニケーションのはじまりであるあいさつが気持ちよく自ら進んでできるような児童を育てるため、さまざまな機会にあいさつの大切さを教え、生活の中であいさつが実践できるよう生活指導部において児童の実態に応じた取組を行う。家庭や地域の人々にも呼びかけ、あいさつができる環境づくりをする。また、正しい言葉遣いを指導し、望ましい人間関係の育成を図る。
- ② いじめを決して許さないという心情を育て、互いを尊重できるように全ての教育活動の中で人権教育を推進する。教職員は、児童の実態に心を配り、いじめの未然防止と早期解決に努める。
- ③ 「特別の教科 道徳」を要として考えを深め議論する道徳を実施する。また、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を養う。
- ④ 道徳の授業公開と地域懇談会を通して、学校における道徳教育について家庭や地域の人々に理解を呼びかけ、児童の道徳的な実践力を高める方策について考える機会をつくる。
- ⑤ 担任が中心となり ALT との協同的な学習活動を通して、我が国の歴史や伝統・文化について学び、自己の誇りをもたせる。また、外国語活動・英語活動などの体験を通して、他の国の文化や習慣を理解し尊重する心を育てる。
- ⑥ 地域の学習材を活用し、地域で学び、地域を愛する児童を育てる。自然愛護・環境保護の視点で自らの行動を考えさせ、地球環境を大切に、持続可能な社会の実現を目指そうとする意欲を培う。
- ⑦ 児童会活動やクラブ活動、委員会活動等の異年齢集団を通して、望ましい人間関係や自主性、リーダーシップを育てる。
- ⑧ オリンピック、パラリンピック教育推進のため、「世界ともだちプロジェクト」や「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」について学ぶ機会を設け、異文化の理解と自他を認め合う心を育成する。
- ⑨ 体育の授業を通し、筋道を立てて練習方法や作戦について、あるいは身近な健康について話し合うことで、コミュニケーション能力の向上を図り、良好な人間関係づくりを目指す。
- ⑩ 保護者による読み聞かせや年3回の読書旬間、朝読書を通し、「四小おすすめの100冊」を推奨し、市立図書館と一層の連携を図り、読書環境の整備・充実に努める。読書を通して多様な見方・考え方に気付かせ、自らを振り返り高めていける力を育てる。
- ⑪ 地域にある高齢者福祉施設との交流を通し、高齢者や障害のある人たちへの理解を深め、福祉教育の充実に取り組むとともに、地域に貢献できるようにする。
- ⑫ 四小の森、ビオトープ、近隣の公園など身近な自然環境をフィールドとした学習を展開するとともにリサイクル等の環境保全のための教育を推進する。
- ⑬ 毎月1回全校児童で聴覚障害のある方から手話を学ぶ「手話朝会」や、視覚障害の方からお話を伺う機会を設けるとともに、特別支援教室の教員を中心とした個性と支援についての理解教育を全学年対象に年1回実施し、差別や偏見をしない教育を行い、他者理解の態度を育てる。
- ⑭ 「開かれた学校づくり協議会」をはじめ、地域の方々との連携を深め、学校支援コーディネーターや地域コーディネーターを活用し、地域を学び、武蔵野市を愛する児童を育てる。
- ⑮ 生命尊重を基盤とし、「学校いじめ防止基本方針」のもといじめ防止に向け、アンケート調査やいじめ防止等対策委員会を設置し、早期発見・解消に努める。
- ⑯ セーフティ教室や保護者学習会等を通して、「SNS 東京ルール」「SNS 学校ルール」を徹底し、情報モラル教育の充実に努める。インターネット上での他者への思いやりの心を育てる。
- ⑰ 高学年における一部教科担任制を実施し、学年内の絆を強めると共に、中学校へのスムーズな接続をめざす。
- ⑱ 芸術祭を企画し、心を合わせ互いを尊重して合奏や合唱を創り上げる楽しさを味わわせる。

第五小学校



校長 嶋田 晶子 副校長 越前 信

所在地 関前3-2-20

TEL 0422(51)2196

FAX 0422(55)5036

H P <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou005>

主な沿革

- 昭和 21年 武蔵野国民学校として発足
22年 市立武蔵野第五小学校と校名変更
35年 鉄筋校舎（北校舎）落成
36年 武蔵野市立第五小学校と校名変更
48年 鉄筋新校舎（西校舎）落成
57年 学校保健統計調査の文部大臣表彰
- 平成 元年 ランチルーム完成
7年 文部省むし歯予防推進指定校研究発表
8年 開校50周年記念式典挙行
10年 市教育研究校として研究発表
13年 ISO14001登録校となる ビオトープ工事完了 市教育研究校として研究発表
15年 体育館耐震工事完了 全国学校ビオトープ奨励賞受賞
18年 市教育課題研究開発校研究発表
19年 開校60周年記念式典挙行 市教育研究奨励校研究発表
20年 北校舎棟耐震補強工事
21年 西校舎棟耐震補強工事 市教育研究奨励校研究発表
22年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備完了 西校舎トイレ改修工事完了
23年 全普通教室空調設備設置工事完了
24年 校旗新調
25年 市教育研究奨励校として研究発表
27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
28年 開校70周年記念式典挙行
30年 市教育研究奨励校研究発表
31年 校内研究「コミュニケーション能力の育成」 学芸会

教育目標

人間尊重の精神を基調とし 生涯学習の視点に立って 知性と感性に富み たくましく生きる人間性豊かな児童の育成を目指す

健康なくして学びなし

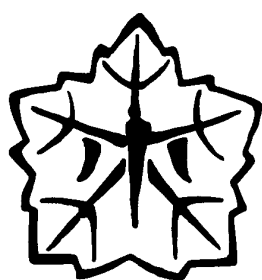
元気 本気 根気

「気」のあふれる学校を目指す

特色ある教育活動

- ① 総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、体育及び体育的行事等を始めとする全教育活動を通して、オリンピック・パラリンピック教育との関連を図り、社会において児童自身が果たすべき役割を考えたり、自己の生き方を見つめ直したりする活動を推進する。
- ② 情報教育年間指導計画に基づき、思考力・判断力・表現力等を伸ばすために、ICT 機器の操作や活用能力を高める授業やプログラミング的思考を育てる授業を積極的に行う。また、道徳の時間でも情報モラルを育成し、情報を適切に活用できるようにするとともに、思考を深めたり、交流したりする学習場を意図的に設定する。
- ③ 年 2 回実施の体力調査では、1 回目の自己課題の解決に向けた取組を 2 回目の調査に生かすことができるようにする。特に昨年度課題となっている投力や握力の向上を目指す。
- ④ 地域コーディネーターを窓口とした地域の教育力を教育活動に生かし、学校内や地域の様々な人との活動や市の様々な施設における体験学習を充実させ、市民性の意識を高める。
- ⑤ 学校ビオトープや屋上での栽培活動、飼育活動、自然と触れ合う場及び学びの場にふさわしい環境を充実させ、自然を慈しむ心を育てる。
- ⑥ 週 2 回の朝読書や読み聞かせ、読書月間等を実施し、日常的に本に親しませ読書力を高める。年間指導計画をもとに学校図書館サポーターや市立図書館と連携して読書活動を充実させる。
- ⑦ 国際理解教育を推進するために、自校給食の良さを生かし、毎月 1 回各国の代表的なメニューを献立に取り入れるなど、食育を通じた異文化理解の土壌を育てる。
- ⑧ 中学校区単位の「小中学校合同研修会」「五中体験」「五中見学」等を実施し、異校種の実態や教員相互の理解を深めるなど小中連携の充実に努める。
- ⑨ 保護者による「五小ボランティア」を推進し、保護者の協力を取り入れた教育活動を行う。

大野田小学校



校長 藤橋 義之 副校長 坂井 由利子

所在地 吉祥寺北町4-11-37
TEL 0422(51)0511
0422(51)0513 (むらさき・いぶき学級)
FAX 0422(53)8634
0422(51)0513 (むらさき・いぶき学級)
HP <http://oonoden-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26 年 大野田小学校の認可を受ける
30 年 むらさき学級開設
46 年 開校 20 周年記念式典及び祝賀会を挙行
48 年 校舎落成祝賀式挙行 (旧校舎)
56 年 開校 30 周年記念式典及び祝賀会を挙行
平成 3 年 いぶき学級、千川小学校より移管 創立 40 周年記念式典及び祝賀会を挙行
13 年 開校 50 周年記念式典及び祝賀会を挙行
14 年 仮設校舎での教育活動開始
15 年 市教育研究奨励校・誌上发表 新校舎建設工事開始
17 年 新校舎落成 パブリックアート除幕式 市教育研究奨励校・研究発表
18 年 市教育研究推進校 文部科学省豊かな体験活動研究協力校
経済産業省資源エネルギー庁エネルギー教育推進校 公立学校優良施設表彰
奨励賞受賞
19 年 武蔵野市教育研究校研究発表会開催
20 年 東京都職員表彰受賞 (環境教育)
21 年 武蔵野市教育研究推進校
22 年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
23 年 開校 60 周年記念式典及び祝賀会を挙行、武蔵野市教育研究推進校
24 年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
25 年 O J T 推進指定モデル校
27 年 武蔵野市教育課題研究開発校指定
28 年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表
29 年 武蔵野市教育委員会モデル校 (タブレット P C 活用)
令和 元年 武蔵野市教育課題研究開発校 (英語教育) 2 年次

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、豊かな心と生涯学び続ける態度を培い、確かな学力と正しい判断力、主体的な行動力と高い社会性を身に付け、地域社会や国際社会に貢献できる児童の育成を図る。

◎深く考える子 (重点目標) ・明るく思いやりのある子 ・強くたくましい子

特色ある教育活動

- ① 併設の特別支援学級児童の校内副籍を設け、各教科等での交流を含め日常的な交流を積極的に行うとともに、その他の障害のある方との交流を通して、障害理解を深め、豊かな心を育む。小中連携研究協力校として、小学校、中学校の特別支援教育の内容を相互理解し、キャリア教育に生かす。
- ② いじめ防止基本方針、SNS 家庭ルールを基に、いじめの未然防止のために毎月児童アンケートを実施し、発生の防止や早急・的確な対応に生かす。
- ③ 新学習指導要領の実施を見据え、第3学年では、コミュニケーションを高める基礎として、第4学年では国際理解を中心とした英語活動を取り入れ、円滑な接続を目指した系統的な指導をする。低学年から外国語活動に年間8時間実施し、外国語に慣れ親しんだり、国際理解を深めたりする。
- ④ 教育課題研究開発校(小学校英語教育)として、令和2年度の全面実施にむけてカリキュラムの編成、教材開発、パフォーマンステストなどの指導と評価の一体化に取り組む。
- ⑤ 週3回、始業前に東京ベーシック・ドリル(算数)、言語活動、読書に取り組む時間を設定し、基礎学力の定着を図る。
- ⑥ 長縄跳びや短縄跳びなど、自己の記録に挑戦する「大野田ギネス」を1校1取組として行う。コーディネーショントレーニングやリズムダンスに取り組む環境を作り、楽しく体を動かす習慣を付け体力の向上に努める。
- ⑦ プレセカンドスクール・セカンドスクールの長期宿泊体験活動では、自然に親しみながら自立と協働のよさを味わわせるとともに、自ら課題を設定し、解決する活動を通して、思考力・判断力・表現力を生かし伸ばす単元計画を策定する。
- ⑧ ICT教育をさらに推進するとともにタブレットPCモデル校で実践してきた内容を踏まえ、学ぶ楽しさ・できる喜び・互いに高め合う授業を展開する。
- ⑨ 吹奏楽クラブの活動では、演奏する喜びや鑑賞する楽しみを味わわせながら、互いのよさを認め、高め合う経験を通して、個性の伸長と感性を育む。

境南小学校



校長 宮崎 倉太郎

副校長 小澤 香子

所在地 境南町2-27-27

TEL 0422 (32) 3401

0422 (34) 8371 (けやき学級)

0422 (32) 6140 (いとすぎ学級)

FAX 0422 (32) 1943

H P <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou010/>

主な沿革

- 昭和 26 年 武蔵野市立境南小学校設立
34 年 下校庭拡張工事完成
47 年 東校舎落成 開校 20 周年記念式典
48 年 いとすぎ学級 (病弱虚弱学級・武蔵野赤十字病院内) 開設
50 年 西校舎、給食棟、プール落成
55 年 けやき学級 (知的障害児学級) 開設
平成 元年 ランチルーム完成
13 年 世代間交流事業「ふれあいサロン」開講
「境南自然ガーデン (ビオトープ)」完成
15 年 読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞表彰
17 年 校舎耐震補強工事完了
23 年 理科園移設 境南子どもクラブ落成 開校 60 周年記念式典
25 年 下校庭一部芝生化
26 年 いとすぎ学級 40 周年記念式典
27 年 平成 26・27 年度武蔵野市教育委員会研究奨励校 研究発表会
28 年 体力向上推進優秀校受賞 オリンピック・パラリンピック教育重点校指定
29 年 小中連携教育研究協力校「武蔵野市民科(仮称)」
30 年 武蔵野市食育モデル校
31 年 武蔵野市モデル校 (武蔵野市民科実践)

教育目標

- ① よく考える子
- ② 進んで取り組む子 (重点目標 1)
- ③ やさしい子 (重点目標 2)
- ④ 元気な子

特色ある教育活動

- ① 小中連携教育研究協力校の実践をもとに「武蔵野市民科」に取り組む。その中で、地域コーディネーターを活用して地域の教育資源を生かした教育の充実に努め、児童が地域社会と積極的に関わり、他者と協力し行動する資質や能力、態度を身に付けさせる。
- ② 自校給食の特色を生かして、望ましい栄養や食事のとり方を理解させるととも

に、食物を大事にする気持ちや生産や調理に関わる人への感謝の気持ちを育てる。また、地域の方々や保護者の方々を招き、ランチランドで共に食事をしながら交流を深め、地域への所属意識や感謝の気持ちを育む。

- ③ 教職員が特別支援教育及び、けやき学級との交流や共同学習の意義について共通理解し推進することで一人一人の児童のよりよい発達を目指す。また、障害に対する理解と認識を深め、相手の立場や思いを理解し、ともに生きようとする態度を育てる。
- ④ 保健指導等の健康教育を、武蔵野赤十字病院や家庭、地域と連携しながら計画的に実施することで、心と体の健康についての関心や理解を深め、望ましい生活習慣における自己管理能力を育成する。
- ⑤ 自然ガーデン（学校ビオトープ）や学校園等、身近な自然を学習活動の中で積極的に活用し、自然や環境に対する理解を深めるとともに、自然に親しみ、自然を愛し、自然を守ろうとする態度を養う。
- ⑥ 毎週水曜日の中休み時間を「外遊び」の時間とし、全校児童が外遊びをする。また、一校一取組として体育朝会を計画的に実施したり、児童による運動委員会を中心となったスポーツ旬間などの取組を行ったりすることで、楽しく体を動かす機会を充実させ体力の向上を図る。
- ⑦ 市立図書館との連携や学校図書館サポーター、保護者による金曜日の読み聞かせ活動等により、読書環境の整備と充実を図る。また、調べ学習等においては、図書資料やコンピュータを積極的に活用する。



本宿小学校

校長 安部 忍 副校長 岡田 仁美

所在地 吉祥寺東町4-1-9
TEL 0422 (22) 4723
FAX 0422 (21) 7692
HP <http://honjuku-e.-musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 27年 武蔵野市立本宿小学校開校
30年 市研究奨励校 (社会科) 研究発表
37年 市教育研究協力校 教育評価に関する研究発表
54年 校舎落成記念式典挙行
57年 市研究奨励校 研究発表
平成 元年 ランチルーム落成記念式典挙行
7年 都ボランティア協力校 (7・8・9年度)
10年 都消費者教育・環境教育等課題研究校 (10・11年度)
12年 市教育研究奨励校・総合的な学習の時間 (12・13年度)
14年 市教育研究奨励校・全教科領域 (14・15年度)
15年 文部科学省環境教育実践モデル校 (15・16年度)
18年 市教育研究奨励校 (道徳) 研究発表
19年 図書室の全面リニューアル
22年 市教育研究奨励校 (社会科・生活科) 研究発表
23年 普通教室空調設備設置
24年 開校60周年式典挙行
25年 市教育課題研究開発校 (防災教育) 研究発表
26年 市防災教育モデル校
27年 市学校安全教育モデル校 全国・東京都学校安全教育研究大会開催校
30年 市教育研究奨励校・国語科 (29・30年度)
31年 市教育研究奨励校 (国語科) 研究発表

教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、心豊かにたくましく生きることのできる心身ともに健康で知性と感性に富んだ児童の育成を図る。

◎心の豊かな子 ○考える子 ○ねばり強い ○元気な子 ○はたらく子
<重点目標> 『心の豊かな子』

学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の「心の豊かな子」に重点をおき、他者の存在を尊いものと認め、気持ちの良い挨拶や言葉遣い等の心のこもった礼儀正しい態度や行動ができるよう生活指導の充実を図る。

特色ある教育活動

- ①吹奏楽団の活動では、異学年との交流をとおり、規律ある集団組織の中で、音楽を通じて豊かな情操と協調性を養う。学校行事や「吹奏楽団コンサート」「ジュニアバンドジョイントコンサート」等での演奏をとおり、日常の練習の成果を発表する。
- ②昼休みを30分間設定し、外遊びを奨励するなど、体を動かす活動を充実させ、児童の運動能力・

体力・健康の向上に取り組む。

- ③食育全体計画に基づき、ランチルームでの異学年児童や給食調理員等との交流給食、卒業時の「卒業お祝い会食会」、食を選ぶ「リザーブ給食」を実施する。また、「オリンピック・パラリンピック教育」の一環として10月を「世界の料理献立月間」とする。児童の食に対する主体的な関わりを高めるために、食育リーダーを中心に養護教諭・栄養士・担任と連携し、心と体の健康づくりを図る。
- ④東京オリンピック・パラリンピック等国際大会の開催都市にふさわしい、運動・スポーツに親しむ児童を育成するとともに、児童の総合的な基礎体力の向上を目指し、体力・運動能力の向上と健康の取組につながる体育の授業や学校行事等の具体的な取組の充実を図る。
- ⑤地域コーディネーターや教育推進室の学校支援コーディネーターと連携し、保護者や地域住民が学習指導や生活指導、安全対策などで学校を支援する運営体制の構築について、一層の充実を図る。

千川小学校



校長 河村 祐好 副校長 宮本 卓哉

所在地 八幡町3-5-25
TEL 0422(51)3695
FAX 0422(55)5039
HP <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou012>

主な沿革

- 昭和 29 年 武蔵野市立関前小学校として開校
42 年 武蔵野市立千川小学校と校名変更
平成 3 年 新校舎基本構想発表
武蔵野市研究奨励校（特別活動）研究発表
4 年 全国道徳特別活動教育研究会会場校
新校舎基本計画発表
5 年 東京都小学校放送教育研究大会開催
新校舎改築工事着工
6 年 新校舎棟落成・開校 40 周年記念式典挙行
体育館棟改工事着工
8 年 体育館棟落成
10 年 武蔵野市教育研究校（算数）研究発表
11 年 武蔵野市教育委員会教育研究奨励校
12 年 自然体験園（わくわく広場）開園式
13 年 武蔵野市教育委員会ホームページ活用モデル校
16 年 武蔵野市教育研究奨励校（算数）研究発表
12 年 開校 50 周年記念式典挙行
18 年 武蔵野市教育研究校（体育）研究発表
20 年 武蔵野市教育研究校（道徳）研究発表
21 年 武蔵野市教育課題研究開発校（特別支援教育）研究発表
24 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 24 年・25 年度）指定
25 年 武蔵野市教育課題研究開発校（算数・ICT 機器の活用）研究発表
26 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
26 年 開校 60 周年記念式典挙行
28 年 第 17 代 河村祐好校長着任
28 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 28・29 年度）指定
29 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表

1 教育目標

(1) 学校の教育目標（◎重点目標）

人間尊重の精神と豊かな心の育成を基盤とし、生涯学習の基礎を培う学習をすすめ、心身共に健康で、主体的に学ぶことのできる人間性豊かな児童を育成する。

◎よく考える子ども 自主性と創造性を伸ばし、生涯にわたる学習の基礎を培う。

○仲良く助け合う子ども 相手の気持ちを感じ取れる感性や思いやり、誰とでも仲良くできる協調性や社会性を養う。

○明るく元気な子ども 自他の生命を尊び、健康で主体的な生活ができるような心と体を育てる。

○すすんで働く子ども 地域の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじる心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ◎① オープンスクールの特色を生かし有効活用した複線型の学習を展開する。また、専科教員による副担任制を実施し、各階フロアの学年・学級への支援体制を充実させる。
- ② 「ラーニングセンター」では、芸術家や児童、地域の方の作品展示（『千川小アートギャラリー（学校館）』）、「ふれあいホール」では児童の音楽・演劇、学習発表、集会活動やプロの演奏会などを行うことで創造力と表現力を養い、豊かな感性と情操を培う。
- ◎③ 学校図書館サポーターや市立図書館と連携し、学校図書館の「学習ステーション」としての機能を高め、課題解決能力を育成する。また、全校読書や年2回の読書ウィークス、読み聞かせ等の活動を充実させることにより、読書に親しもうとする態度、豊かな感性や情緒を育むとともに知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ④ 一校一取組としての長縄記録会、体育朝会や外遊びの充実、外遊びタイムや運動委員会主催の活動（鉄棒検定、縄跳び検定、スポーツフェスティバル）等、楽しく運動する機会を充実させ体力の向上を図る。
- ◎⑤ 武蔵野市食育推進モデル校として、食育リーダーを中心に武蔵野市給食・食育振興財団等と連携し、人的資源を活用しながら、食育全体計画及び年間指導計画を改善、実践することを通して、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。
- ⑥ 地域の農業関係者と連携を図りながら、食農教育を実践し自然への恩恵や生産者への感謝の心の育成を図る。さらに、ランチルームでの異学年や地域の方との交流給食では人との関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育む。
- ⑦ 「武蔵野市のいまむかし」や「武蔵野ふるさと歴史館」等を活用して各教科等の中で、武蔵野市の歴史や文化を学ぶ機会を取り入れるとともに、地域行事やボランティア活動を通して地域社会と積極的に関わろうとする意欲や態度を育成する。
- ◎⑧ 自然観察園「わくわく広場」での観察、栽培活動や、落ち葉拾いやPTAと連携したエコキヤップ収集活動を通して、自然保護や環境保全に向けて主体的に行動する態度を育成する。
- ⑨ 開かれた学校づくり協議会、保護者、児童や教職員による学校評価の結果を基に、教育活動の成果と課題の検証を行う。結果、成果、課題、課題に対する具体策は適切に公表し、学校運営の改善と発展を目指す。
上記の取組を地域の人的、物的環境を効果的に活用しながら推進するために、地域コーディネーターとの連携を図る。
- ⑩ 学校ホームページ、学校・学年だより、保護者会等を充実させ、分かりやすい情報を積極的に発信し、保護者と学校の連携を深める。
- ⑪ アスリートの招聘や全校での活動など、4つのテーマと4つのアクションを組み合わせたオリンピック・パラリンピック教育を推進することを通して、体力向上や健康づくりに自ら取り組む態度や、公正・公平な態度、日本の文化とともに異文化も理解しようとする態度を育成する。
- ⑫ 第1学年、第2学年では「外国語に親しむ活動」をそれぞれ5時間実施し、外国語に慣れ親しみ、国際理解を進めるとともに、コミュニケーション能力の素地を育成する。
- ⑬ 「小・中学校合同研修会」を年1回実施し、指導の連携を図る。また、幼・保・小の連携については、就学支援シート等を活用し、情報を共有し、円滑な接続に努める。
- ⑭ 「千川小合唱団」の活動を通して歌う楽しみや鑑賞する喜びを味わわせながら情操を豊かにし、個性の伸長を図る。
- ⑮ 学習支援教室「火曜まなべえ」「水曜まなべえ」「サマースクール」では、児童の課題に応じた個別指導を行い、基礎学力の向上を図る。

井之頭小学校



校長 赤羽 幸子 副校長 吉佐 輝

所在地 吉祥寺本町 3-27-19
TEL 0422 (51) 7188
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
FAX 0422 (55) 5049
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
HP <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou008>

主な沿革

- 昭和 30 年 武蔵野市立井之頭小学校開校
31 年 校歌制定
50 年 校舎落成式
51 年 東京都愛鳥モデル校に指定
平成 10 年 富士宮市立井之頭小学校と交流開始
14 年 校庭ビオトープ設置 太陽光発電装置設置
15 年 東京都消費者・環境教育課題研究 全国学校ビオトープコンクールにて奨励賞受賞
18 年 東京都愛鳥モデル校「第 60 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて環境大臣賞受賞
文部科学省豊かな体験活動推進事業（地域間交流）推進校
武蔵野市教育委員会教育研究校研究発表（算数・情報）
20 年 武蔵野市教育委員会研究奨励校研究発表（国語）
武蔵野市教育委員会英語活動モデル校 特別支援教室モデル事業校
23 年 東京都教育委員会人権教育推進校研究発表
26 年 情緒障害等通級指導学級「かわせみ学級」開級
27 年 「第 69 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて文部科学大臣奨励賞受賞
開校 60 周年記念式典
28 年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表（算数）

教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と感性に富み、国際社会に貢献できる個性・能力を十分伸ばす教育を推進する。そのために次の目標を設定する。

- ◎すすんで学ぶ子 自ら考え、自分の道を切りひらいていく力をもった子どもを育てる。
- 心豊かな子 自他の人権を尊重し、協力と思いやりを大切にする子どもを育てる。
- きたえる子 自他の生命の尊さを自覚し、心身を鍛え、健康の増進と安全保持に努める子どもを育てる。

特色ある教育活動

- ① 人権に関わる校内研修を充実させて教員の人権感覚を磨き、人権教育年間計画をもとに、全教育活動において人権教育の視点に立った教育活動を行うことで児童の人権感覚を高める。
- ② 研究主題を「論理的に考えていく児童の育成 ～プログラミング教育を通して～」と定め、算数科、理科、総合的な学習の時間等において、児童がプログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けるための学習活動を、発達段階に応じて系統的に取り入れる。また、各教科等で児童が書画カメラ、電子黒板、タブレット PC 等の ICT 機器を積極的に活用し、学習意欲、思考力・判断力・表現力等の向上を目指した学習活動を推進する。
- ③ 箏、三味線及び和太鼓などの演奏を通じて、日本の伝統文化に対する理解を深める。
- ④ 体力向上や健康づくりに自ら意欲的に取り組む児童の態度を養うとともに、一校一取組として休み時間の全校児童外遊びを推進し、季節に応じて縄跳び集会や持久走週間などを実施する。
- ⑤ 全体計画及び年間指導計画に基づいて、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、障害を理解する心の育成、ボランティアマインドの醸成を図る。
- ⑥ 井の頭公園、学校ビオトープ等を活用した動植物の観察やふれあい活動、探鳥会などの愛鳥活動等を通して、自然環境に対する関心を培うとともに、生き物を慈しむ心と態度を養う。また、学校農園における栽培活動で収穫した野菜等を調理して食べる活動の充実により、作物を作る喜びと食べる楽しさを体験させ、生産者への感謝の心を育むなど、食農教育を進める。さらに、学校医と連携したり地域人材や農園を活用したりしながら、食育リーダーを中心に意図的・計画的に食育を推進し、食育に関する正しい知識と望ましい食習慣を児童に身に付けさせる。
- ⑦ 小中連携教育として、第一中学校との交流を計画し、児童の自己有用感、あこがれの気持ち、思いやりの心を育み、将来に向けた目標をもたせる。また、小中学校合同研修会において、情報の共有や系統的な学習指導・生活指導について共通理解を図り、円滑な接続ができるようにする。
- ⑧ 「幼・保一小」の連携については、生活科や総合的な学習の時間を活用して近隣の保育園と計画的に交流するとともに、児童保育要録や幼児指導要録、就学支援シート等を通じて就学前機関からの支援の内容、成果等を有効に活用するなど、円滑な支援ができるようにする。また、「武蔵野スタートカリキュラム」を活用し、1年生において、よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付ける活動を取り入れる。

関前南小学校



校長 加藤 聖記 副校長 入江 明子

所在地 関前3-37-26

TEL 0422(53)7655

FAX 0422(55)5097

H P <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou009>

主な沿革

- 昭和46年 市立関前南小学校の創設
56年 開校10周年記念式典挙行
61年 子ども相撲用の土俵完成
62年 小学校体育研究会研究協力校 市教育研究奨励校として研究発表
平成2年 特色ある教育活動として吹奏楽団を組織
3年 開校20周年記念式典挙行
4年 東京都人権尊重教育推進校 市教育研究奨励校として研究発表
7年 市教育研究校として研究発表 セカンドスクール開始
8年 市教育研究奨励校(～平成9年まで)
12年 市教育研究校として研究発表
13年 開校30周年記念式典挙行 市教育研究奨励校 太陽光パネル設置
15年 プレセカンドスクール開始 地域児童館あそべえ開設
16年 ビオトープ完成
17・19年 市教育課題研究開発校として研究発表
21年 市教育課題研究奨励校として研究発表
22年 吹奏楽クラブ第29回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
23年 開校40周年記念式典挙行
吹奏楽クラブ第30回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
25年 吹奏楽クラブ第13回東日本小学校吹奏楽大会銅賞
市教育研究奨励校として研究発表
26年 吹奏楽クラブ第14回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
27年 吹奏楽クラブ第15回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
連続3年出場の表彰を受ける
28年 市教育研究奨励校として研究発表
吹奏楽クラブ第35回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会金賞
30・31年 武蔵野市教育研究奨励校

教育目標

人間尊重の教育を基盤として、心身ともにたくましく、情操豊かで創造力に富み、生涯にわたって自己陶冶をめざす児童を育成する。さらに、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養う。

◎しっかり考える子ども ○すなおでやさしい子ども ○元気な子ども

基本方針

- ① 「しっかり考える子ども」を育成するために
- ・ 新学習指導要領を踏まえ、教育課程に基づく教育活動をより効果的に実施するために、学校の実態把握と教科等横断的な視点でのカリキュラムマネジメントの充実に努め、

組織的・計画的に教育活動の質の向上と教員の資質向上を図る。

- ・ 保護者・家庭と連携し、自ら考え行動し、協働的に課題解決し、自分に合った表現で相互に思いや考えを伝え合う児童の育成を図る。
- ・ 教科横断的に、「自立」「協働」「社会参画」の視点を取り入れた「武蔵野市民科」を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ・ 教育相談・特別支援教育校内委員会の組織・体制の充実を図るとともに、インクルーシブ教育の理念に基づき合理的配慮を行い、個に応じた指導を行うことで、知識・技能の確実な習得を図る。

② 「すなおでやさしい子ども」を育成するために

- ・ 「特別の教科 道徳」の目標、内容を踏まえ、「問題解決的な学習」「体験的な学習」を取り入れる等、「考え」「議論する」道徳教育の充実を図り、自他の生命を大切に、あらゆる偏見や差別をなくす心の教育に努め人権尊重を基盤とした教育を推進する。
- ・ 伝統や文化に関する教育を充実させて豊かな感性や情操を育むとともに、社会とのつながりを大切にしながら地域社会の一員としてよりよい地域づくりに積極的に参加できる資質や能力を育成する。
- ・ 「いじめ防止基本方針」「SNS ルール」や「ふれあい月間」「いじめ防止重点月間」の取組を通して、家庭・地域と連携し、好ましい人間関係を育てる。

③ 「元気な子ども」(重点目標)を育成するために

- ・ 日常的な体育指導の充実を努め、運動やスポーツに親しむ児童を育成し、体力の向上を図る。生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- ・ 食育の全体計画に基づく授業を実践し、食育及び健康教育に関する指導を充実させる。
- ・ オリンピック種目を体験するなどの「オリンピック・パラリンピック教育」や体力調査の結果を生かして、体力向上に向けた取組を行う。

特色ある教育活動

- ① 「自立」「協働」「社会参画」をキーワードとした「市民性」を育成する観点から、生活科や総合的な学習の時間を中心に各教科の年間指導計画を見直し、「市民性を高める教育」「武蔵野市民科」を教科横断的に、地域支援コーディネーターと連携し、地域の特性を生かして進める。
- ② プロジェクタやタブレット等の ICT 機器を活用し、見つけた情報を活用しながら他者と協働することができるような指導の工夫を図る。また、プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けられるような学習活動を取り入れる。
- ③ 吹奏楽クラブを組織し、音楽に親しむ態度や協力する態度、粘り強くやりぬく力等を育成するとともに、音楽朝会等の発表の場を活用して、全児童に音楽を愛する心情と感性を育てる。また、地域に演奏を披露し、地域の方々との交流を深める。
- ④ 学校に土俵があるという施設の特色を生かして、全校相撲大会「関前場所」を実施し、力強い動きを持続する運動能力を高めるだけでなく、挑戦する姿勢や勝敗を超えた礼節を重んじる態度を育成する。

桜野小学校



校長 金子 圭子 副校長 本橋 忠旗

所在地 桜堤 1-8-19
TEL 0422 (53) 5125
0422 (53) 5651 (こぶし教室)
0422 (54) 8655 (こだま学級)
FAX 0422 (55) 5071
HP <http://sakurano-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 平成 8年 武蔵野市立桜野小学校開校 開校式典挙行、校歌と校章を制定する
14年 体育館・通級学級棟完成
15年 ビオトープ完成
18年 開校 10 周年記念式典挙行
22年 北校舎増築工事完了 自校給食開始
24年 武蔵野市教育課題研究開発校（2年次）研究発表会開催
26年 西校舎増築工事完了
27年 武蔵野市教育研究奨励校（3年次）研究発表会開催
28年 開校 20 周年記念式典挙行
29年 特別支援教室「こぶし教室」開設
30年 個別支援教室「さくらのステップルーム」開設

教育目標

- 思いやりのある子ども
- ◎自分の考えをもつ子ども
- 明るく元気な子ども

特色ある教育活動

- ・ 保護者による教育ボランティア（桜野ボランティア）や地域コーディネーターを有効に活用し、保護者や地域人材の教育活動への支援体制を充実させるとともに、専門的な知識や技能を教育活動に導入し、体験活動や実技指導等の充実を図る。
- ・ 地域の商店や様々な施設との交流や市民社会福祉協議会の協力を得るなど地域人材を活用した学習を充実させ、地域社会の一員としての理解と市民性を高め、共に生きる心と実践する力を育てる。
- ・ 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。各学年において、ゲストティーチャーとの交流やスポーツ体験活動を行い、外国の文化や競技への関心を高める。また、吹奏楽クラブや茶道クラブの活動等では、児童が学んだことを発表する活動を通して地域貢献の態度を育てる。亜細亜大学に所属する留学生との継続的な交流等を通して、国際社会に生きる態度と能力の基礎を培うとともに、諸外国の生活や文化に対する理解を深め尊重する態度を育てる。
- ・ 休み時間における全校児童の外遊びや運動施設の有効活用を通して、体力・健康づくりを図る。体力・運動能力調査の結果を鑑み、特に児童の敏捷性を高めるため、なわ跳びを重点として「一校一取組」を推進する。
- ・ 個別支援教室「さくらのステップルーム」により、保護者との連携・理解のもと、児童一人一人の学習状況に応じた指導を充実させる。
- ・ 自校給食の利点を生かし、栄養士を活用した栄養指導や交流給食、調理員等との交流「さくらのクッキング」の実施や食育推進チームを中心にした食育の充実を図り、望ましい食習慣の定着や食文化への理解を深める。
- ・ 吹奏楽クラブの活動を通して、音楽を愛好する心と協力して粘り強くやり抜く態度を育てる。

- ・ 学級園や学校ビオトープなどの施設の活用を通して、環境保全や自然愛護の態度を養う。
- ・ 週2回の朝読書を始め、「読書動機付け」、桜野ボランティアによる読み聞かせ、学校図書館サポーターや学校図書館システムを活用して、読書指導の機会を充実させ、読書を通して言語能力を高めるとともに、豊かな情操を育む。また、自ら学ぶための学習・情報センターとしての学校図書館の有効活用を進める。
- ・ セカンドスクールなど長期宿泊体験の活動内容を一層充実させ、実施期間中は児童同士の協働や現地の人々との交流を通じて、自主性・協調性を育み現地の人々への感謝の念を抱けるようにする。
- ・ 児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かえるようにするため、幼稚園・保育園・こども園等との交流会や連絡会を実施して、幼・保一小的の接続を円滑に行う。
- ・ 学校運営の組織的・継続的な改善を図るため、学校関係者評価の結果を生かすとともに、家庭や地域の教育力を活用し、開かれた学校経営を推進する。また、学校だよりや学年だより、学校ホームページの内容の充実を図りながら積極的に教育活動の成果や課題及びその解決策について発信し、相互の理解を深め、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

第一中学校



校長 中嶋 建一郎 副校長 清水 大史

所在地 中町3-9-5
TEL 0422(51)8041
0422(51)1136 (エコールーム)
FAX 0422(55)5186
HP <http://dail-jh.musashino-city.ed.jp>

主な沿革

- 昭和 22 年 町立武蔵野第一中学校設立
市政施行により武蔵野市立第一中学校と校名変更
- 28 年 校歌制定
- 38 年 新校舎落成
- 57 年 体育館・特別教室・プール落成
- 59 年 難聴学級(エコールーム)開設、視聴覚教育全国大会開催
- 63 年 新音楽室(音楽ホール)落成
- 平成 2 年 市研究奨励校(学年・学級経営)研究発表
- 5 年 コンピュータ室完成
- 6 年 文部省「教育課程実施調査協力」指定校(2年間)
- 9 年 創立 50 周年記念式典挙行
- 11 年～ 文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」委託校、放送機器改修
- 17 年～ 東棟内装改修工事(順次 3 年間)、東棟・西棟 WC 改修工事、
東門改修工事完了(順次 2 年間)
- 19 年 創立 60 周年記念式典挙行
- 21 年 学校給食開始、東・西棟耐震補強工事完了
- 22 年 市教育研究奨励校(道徳)研究発表
- 23 年 空調設備設置工事完了
- 25 年 雨水貯留浸透施設設置工事完了
太陽光発電設備設置工事完了、グラウンド整備工事完了
- 26 年 都言語能力向上拠点校(2年間)、非常災害用トイレ設置工事完了、
ガラス飛散防止フィルム貼替工事完了
- 27 年 研究発表会「思考力・判断力・表現力の育成」～言語活動の充実を通して～
- 28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
- 29 年 開校 70 周年記念式典挙行
- 31 年 体育館空調機設置

教育目標

- 正しく判断し進んで実行できる人間になろう
- 思いやりのある心豊かな人間になろう
- 心身ともに健康で明朗な人間になろう

特色ある教育活動

- ① 地域との連携による一中フェスタ（青少協・地域・保護者の協力による体験活動）の開催、各種地域まつり、関係小学校の運動会、青少協の行事、地域防災訓練への運営参加などの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、健全育成を図るとともに生徒の市民性を育む。
- ② 年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に入る習慣を身につけさせるとともに、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。
- ③ 放課後の図書館開放を学校図書館サポーターや地域人材と連携して取り組み、恒常的な読書習慣の形成を図り、豊かな心や情操を育み、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、表現力の伸長を図る。
- ④ 「地域の教育力」の活用、生徒会のハートカード（地域高齢者へのお便り作成）活動、ユニセフ学習会・募金活動、コミュニティセンターでの合唱等による地域高齢者との交流を通して、社会奉仕の精神や人権教育を充実させ、地域との連携を一層深める。
- ⑤ 体育祭では、全校体制で集団演技や学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育むとともに、市内連合陸上競技大会や部活動、中学生「東京駅伝」大会などの様々な機会を通して体力の向上を図る。
- ⑥ 第一中ブロックの小・中合同研修会を通して、生活指導や学習指導に対する情報交換等を行うとともに、小学生を対象とした体験授業及び部活動体験の実施等により、連続性のあるきめ細かな指導を充実させる。
- ⑦ 第1学年における普通救命講習、第2学年における防災訓練、第3学年における上級救命講習を命の大切さを学ぶ学習場面と捉え、自他の生命を尊重する心を育てる。
- ⑧ オリンピック・パラリンピック教育では、4つのテーマ「オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境」、4つのアクション「学ぶ（知る）、観る、する（体験・交流）、支える」を組み合わせ、各教科や総合的な学習の時間、道徳、学級活動での横断的な全体計画や年間指導計画を作成し、多様な活動を推進する。
- ⑨ （一財）武蔵野市給食・食育振興財団と連携し、学校給食を通じて「食育」を行い、栄養や食事のとり方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力等を身に付けさせる。
- ⑩ 年7回の土曜日の学校公開や学校公開週間等により、広く教育内容を公開し、保護者や地域の意見を取り入れながら、開かれた学校づくりを推進する。また、ホームページ・各種たよりによる積極的な情報発信を行い、教育活動の相互理解に努める。

第二中学校



校長 菅野 由紀子 副校長 二日市 克

所在地 桜堤 1-7-31
TEL 0422 (52) 2148
0422 (54) 9103 (こぶし学級)
FAX 0422 (55) 5194
H P <http://dai2-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 24 年 市立第二中学校の創設、校歌制定
28 年 5 月 10 日を開校記念日と定める
43 年 新鉄筋校舎完成（現在に至る）
54 年 情緒障害学級（こぶし学級）開設
60 年 重層式体育館完成
平成 3 年 東京都学校保健優良校として表彰
5 年 コンピュータ室等増築工事完了
4～6 年 都ボランティア活動普及事業協力校
11 年 武蔵野市教育研究校（平成 13 年度まで） 開校 50 周年記念式典
14 年 校舎東棟内装工事着手、教育目標の改訂
16 年 ティーチングアシスタント事業実践校 校舎東棟内装工事完了
18 年 第二理科室改修工事完了
19 年 屋上防水等改修工事、受水槽更新工事、派遣相談員配置
20 年 校舎東棟・校舎西棟耐震補強工事、校舎西棟天井改修完了、学校給食開始
21 年 開校 60 周年記念式典
22 年 校舎東棟トイレ改修工事
23 年 こぶし学級二中校舎内に移転、屋上太陽光発電システム稼働開始
25 年 校舎西棟外壁工事
26 年 校舎東棟改修工事
27 年 武蔵野市タブレット導入校
29～30 年 武蔵野市小中連携教育研究校～小・中学校教員の相互乗り入れ授業実施
30 年 東京都道徳教育推進拠点校
令和 元年 開校 70 周年記念式典

教育目標

- 進んで学習する人 ○心身ともに健康な人 ○夢の実現を目指す人

特色ある教育活動

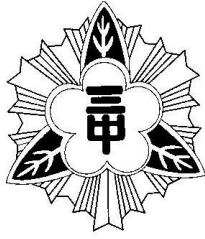
- ① 生徒の学習習慣、学習規律を確立する一つの方策として、現在各学年が始業時の時間を有効活用して取り組んでいる朝読書を継続し、知的好奇心や創造力を育み、穏やかに一日のスタートを切る時間とする。
- ② 放課後や休業中に行っている学習支援教室や大学生・卒業生による個別学習（武二中お勉強プロジェクト）を地域コーディネーターの協力のもとに継続し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の確実な定着を目指す。
- ③ 「自立」、「協働」、「社会参画」をキーワードとした「市民性」を育成する観点から、各教科等の年間指導計画を見直し、「市民性を高める教育」を教科横断的に進めていく。また、開校 70 周年の節目にあたり、記念講演等を

活用して地域社会の発展について興味・関心を深めていく。

- ④ 数学、英語以外のすべての教科においても生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導を行うために、学習指導補助員による支援の活用、年間を通じた学習相談、補充教室の実施など、基礎・基本を確実に習得する機会を設ける。
- ⑤ 学校図書館ポーターとも連携した読書指導の推進、図書館の利用拡大を図るとともに、学校図書館の蔵書を計画的に点検し、生徒が自ら学ぶ場として学校図書館の読書環境と機能を活性化させ、教育活動の充実を図る。また、読書感想文コンクールなどに積極的に取り組ませる。
- ⑥ 読書の楽しさや喜びを味わい、言語活動の基盤としての読書活動を充実させるため、教員を含めた全校一斉の朝読書の時間として、6月第4週と11月第5週の1週間を読書週間として位置付ける。期間中は朝読書の時間をさらに充実させるため、学校図書館担当教諭を中心に国語科や図書委員会・学校図書館サポーターと連携し、生徒が本を読もうとする気持ちをさらに高める取り組みを行う。
- ⑦ 生徒の興味・関心・個性・特性を伸長する機会として部活動を開設する。異年齢集団での切磋琢磨と、協調性や達成感の獲得もねらいとする中で活動内容の質の向上を図る。
- ⑧ 食育指導の一環として給食指導の充実を図ると同時に、食についての正しい理解を深め、食を選択する力を習得し、望ましい食習慣を身に付けさせる。また、食物アレルギーの生徒への対応を全教職員で共通理解し、保護者と連携した安全な食の提供に努める。
- ⑨ 避難訓練・防災訓練は想定に様々な工夫を凝らし、生徒の危機回避能力の獲得を図る。また、地域と学校が連携した地域防災教育などの市民性を高める活動を通して、災害時は拠点施設として教職員と生徒が地域のために自助共助活動を行えるよう準備をするとともに生徒の「自立・協働・社会参画」の意識を育成する。
- ⑩ 東日本大震災を教訓にした防災マニュアルや教員作成の地域安全マップを活用するとともに、災害時の危機管理能力を育成するために、市の防災計画に沿って中学生が援助できる活動を考え、消防署・市防災課・地域など、市民と協働した防災訓練を毎年積み重ねていく。
- ⑪ 地域に根差した職場体験や地域行事への参加を通して、自分たちが生活する地域についてより深く知り、地域に貢献しようとする態度を育成する。
- ⑫ 異校種（小学校、高校、大学）との連携や、地域の人材や資源の活用を図る。特に、地域の小学校とは生徒会を中心とした小学校訪問による小中の交流や、授業・外国語活動・部活動などを活用した双方向の活動を進めるとともに、教育課程の連続性に重点を置いた相互交流を深め、連携を計画的に推進する。

特別支援教育

- ① 通級指導学級「こぶし学級」においても個に応じた適切な指導ときめ細かな支援を行い、通常学級と連携して学ぶ意欲の向上を目指す。
- ② 個別の指導計画や学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に基づく適切な指導を行う。また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を定期的に開催して必要な支援の検討を行い、保護者と連携して社会的な自立と地域の一員として生きる力を培う。
- ③ インクルーシブ教育の理念を踏まえて、障害者差別解消法に基づく合理的な配慮を行う。そのために、情緒障害等通級指導学級の教員の専門性を生かした双方向交流や協働を一層推進し、組織的な支援体制の確立を図り、合理的配慮に基づいて一人一人の教育的ニーズに応えていく。



第三中学校

校長 河合 雅彦 副校長 塩尻 浩

所在地 吉祥寺東町 1 - 2 3 - 8

TEL 0 4 2 2 (2 2) 1 4 2 6

FAX 0 4 2 2 (2 1) 7 6 9 4

H P <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou103>

主な沿革

- 昭和 26 年 市立第三中学校の創設
28 年 校歌・校旗制定、理科教育研究発表
34 年 体育館完成
36 年 文部省実験校、国語科研究発表
47 年 都教委教育課程実験校 研究発表
54 年 文部省機器利用英語 教育研究発表
55 年 文部省帰国子女教育研究協力校
63 年 ランニングコース完成
平成 3 年 創立 40 周年記念式典
4 年 文部省機器利用英語教育研究指定校として研究発表
8 年 東京都教育委員会学校週 5 日制実施研究校として研究発表
13 年 創立 50 周年記念式典
15 年 都教育委員会少人数学習集団による指導法の研究推進校及び市教育委員会教育研究校として研究発表
19 年 武蔵野市・東京都授業力向上研究指定校として研究発表
20 年 校庭一部芝生化
21 年 雨水貯留浸透施設工事、校庭改修
23 年 開校 60 周年記念式典
25 年 理数フロンティア校指定校
26 年 オリンピック教育推進校
27 年 屋上太陽光発電設備設置
武蔵野市タブレット PC 活用モデル校
28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
29 年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表

教育目標

個性豊かな文化の創造と民主的な社会の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる、人間性豊かな社会人を育成することを目標として、次の標語をかかげる。この一つ一つを目標とするだけでなく、それらが一体となり、関連し、相補うものとする。

知性豊かな人になろう 情味のある人になろう 品のよい人になろう
健康な人になろう 骨身を惜しまず働く人になろう

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 人権尊重の精神を基盤とし、教育活動全体を通して、一人一人がかけがえのない人間として、互いを信頼し、尊重し合いえる人間関係を構築させることに努める。また心豊かな感性をもち、創造性に満ち、多様な社会に貢献できる生徒を育成する。

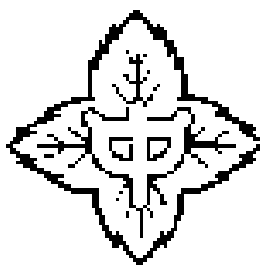
イ 確かな学力の向上とその定着に向け、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的な学びの形成を目指す。

- ウ 健全な心身の育成のため、健康にかかわる教育活動等の計画的な実施を通して、望ましい生活習慣の確立や体力の向上と心の健康の維持増進を図る。
- エ 義務教育9年間の総括として、関係小学校や地域との連携を深め、社会に貢献する生徒の育成を図る教育活動の充実を目指す。
- オ 特色ある教育活動としての文化・芸術活動やボランティア活動、自治活動を中心に据えた生徒会活動の充実を通して、生徒の自主性や協調性を育み、協働意識を醸成する。
- カ 「特別支援教育」「いじめ」「不登校」「問題行動」などの多様な課題に対し、校内体制を充実させ、関係諸機関との密接な連携のもと、生活指導・教育相談機能の充実を図る。

特色ある教育活動

- ・ 「責任ある自由」の理念のもと、生徒の自主・自律を生かした教育活動を展開し、充実・発展させることによって本校の「特色ある教育活動」として位置付けていく。
- ・ 「ボランティア活動（高齢者の方との関わり、花の球根や苗のプラントづくり）」を中心とした生徒会活動、青少年問題協議会三中ブロックや地域の関係諸機関との連携を通して、地域や社会への理解を深め貢献しようとする意欲を育み、市民性を高める教育を推進する。
- ・ 小・中学校9年間を見通した効果的な教育活動を充実させるため、学区小学校と合同研修会の実施や、研究発表会等への参加、学習指導、生活指導、進路指導、特別支援教育等の連携を図る。また小学校6年生を対象とした新入生交流会を実施する。
- ・ 地域コーディネーターとの連携による教育活動を推進する。
 - ①地域人材を活用した学習支援。（毎週土曜日実施のチャレンジスタディー、夏休み学習教室及び、英検・漢検・数検の受験対応全般。）
 - ②職場体験・キャリア教育等における地域人材の活用。（事業所の紹介、働く人の話を聞く会・道徳授業地区公開講座の講師等）
- ・ 運動会やくぬぎ祭などの学校行事をとおして、生徒の創造性・自主性を大切にしながら、共に創造し学び合う異年齢集団による活動を通して、よりよい人間関係を築く力の育成を図る。

第四中学校



校長 竹山 正弘 副校長 金本 泰介

所在地 吉祥寺北町5-11-41
TEL 0422(51)7675・7676
0422(51)7677(群咲学級)
FAX 0422(55)5195
H P <http://dai4-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- | | | |
|----|-----|---------------------------------|
| 昭和 | 28年 | 入学式、一中より2年生133名、新1年生122名 |
| | 28年 | 第一期改修工事落成(元中島飛行機青年学校) |
| | 28年 | 徽章バッヂを制定(けやきの葉図案) |
| | 28年 | 開校式(この日を開校記念日と定める) |
| | 30年 | 第一回卒業式 卒業生144名 |
| | 31年 | 群咲学級開設 2学級(木造校舎) |
| | 33年 | 校歌制定(作詩 川崎庸三、作曲 国枝重寿) |
| | 35年 | 体育館竣工 |
| | 38年 | 十周年記念式典 |
| | 40年 | 群咲学級新校舎落成 |
| | 42年 | プール施工工事完了 |
| | 43年 | 十五周年記念式典、記念事業(岩石園造園) |
| | 44年 | 市研究指定校として学級活動研究発表 |
| | 48年 | 二十周年記念式典、記念事業(花壇整備) |
| | 50年 | 校舎落成記念式典 |
| | 52年 | 群咲学級、市研究協力校として教育課程の学習展開について研究発表 |
| | 54年 | いぶき学級校舎竣工 |
| | 58年 | 三十周年記念式典 |
| | 58年 | いぶき学級開級十周年記念行事 |
| | 61年 | 学校保健統計調査優秀校として文部大臣賞を受賞 |
| | 61年 | 市視聴覚教育研究奨励校公開授業、研究発表 |
| 平成 | 元年 | 東京都帰国子女教育推進校 公開授業、研究発表 |
| | 3年 | いぶき学級校舎竣工、新校舎移転 |
| | 3年 | 群咲、いぶき学級校舎落成記念式典 |
| | 4年 | 体育館・温水プール等改築竣工記念式典 |
| | 5年 | 四十周年記念式典 |
| | 6年 | 東京都体力づくり研究協力校、公開授業、研究発表 |
| | 11年 | 文部省スクールカウンセラー活用調査研究発表 |
| | 15年 | 五十周年記念式典 |
| | 21年 | 教育課題研究開発校、公開授業・研究発表(特別支援教育) |
| | 23年 | 空調設備工事完了 |
| | 24年 | 校舎棟エレベータ工事完了 |
| | 25年 | 六十周年記念式典 |
| | 28年 | 屋上ソーラーパネル工事完了 |
| | 29年 | 東京都スーパーアクティブスクール指定 |

教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身共に健康で、人間性豊かな生徒の育成を目指す。また、生涯を通じて主体的に学ぶことのできる基礎を培う教育の視点に立って、次の目標を設定する。

- 進んで学習しよう
- 力をあわせて働こう
- 励ましあって身体を鍛えよう

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 「進んで学習しよう」を達成するために
進んで考え、適切に表現し、自ら伸びようとする態度と能力を育てる。
○基礎・基本の定着と言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- イ 「力をあわせて働こう」を達成するために
自他を敬愛し、自然や他者と共生していく心と態度を培う。
○人権教育、特別支援教育の推進と道德教育の充実
- ウ 「励ましあって心身を鍛えよう」を達成するために
心身共に健康で活力ある生活を営むための、健康の促進と安全について理解を図る。
○基本的な生活習慣と心身の健康の基礎の育成、及び食育の推進
- エ 3つの目標を達成するために
○国際理解教育、環境教育、情報教育の推進
○発達段階を踏まえた学習指導、生活指導、進路学習の充実
○個に応じた学習指導と生徒理解の推進
○地域の教育力の活用と学校評価の適切な実施

特色ある教育活動

- ◎ オリンピック・パラリンピック教育推進校として、運動・スポーツへの興味・関心や障害者への理解を高め、基礎体力の向上や健康増進を図るとともに、世界の国々の歴史・文化・習慣・環境を学ぶことによって国際理解を深め、平和を愛する心情を育てる。
- ◎ 地域の協力のもと、1年次に救命講習、2年次に地域や諸機関と連携した防災訓練、3年次に福祉・介護についての体験的な学習を学年の全生徒を対象に行い、体験的・奉仕的な活動を充実させ、技能の習得とともに安全・防災・福祉に対する意識を啓発し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。
- 地域コーディネーターの協力により校内施設において英語検定、漢字検定、数学検定を実施する。
- 開かれた学校づくりの一つとして、学年・学校だよりや学校ホームページの充実を図り、積極的な情報公開をしていく。また、年7回の学校公開や学校行事の公開によって、保護者・地域に常に開かれた学校づくりを推進していく。
- 学校施設開放を積極的に行うことにより、地域との交流を深める。
- 年2回、読書月間を設け、生徒の意欲的な読書活動を推進する。また、学校図書館担当教諭を中心に学校図書館サポーターとの連携を重視し、図書館情報を積極的、計画的に提供するとともに、読書指導や調べ学習の充実を図る。

第五中学校



校長 刀根 武史 副校長 沖山 弘美

所在地 関前 2-10-20
TEL 0422 (52) 0421
FAX 0422 (55) 5258
HP <http://dai5-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 36 年 武蔵野市関前 960 番地に設立認可、校章制定（原案作成 2 年中村常夫）
38 年 校歌制定
51 年 6 月 1 日を開年記念日に指定
平成 8 年 第 1 回セカンドスクール実施（志賀高原）
14 年 少人数学習指導開始（国・数・英）
17 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
18 年 教育課題研究開発校「中学校における部活動の役割と課題」として研究発表
21 年 武蔵野市教育研究奨励校「授業改善と教育課程の工夫」として研究発表
23 年 南北棟教室空調工事完了、開校 50 周年記念式典挙行
24 年 太陽光発電工事完了、屋上防水工事完了
27 年 東京都人権尊重教育推進校、武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
28 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
29 年 東京都道徳教育推進拠点校
令和 元年 部活動指導員導入モデル校

教育目標

地域を愛し平和的な国際社会の実現に貢献できる人間としての基礎を築くため、人権を尊重し、主体的にたくましく生きる生徒の育成を目指して次の目標を設定する。

- 自ら考え、進んで行おう
- あたたく、広い心を持とう
- 互いに鍛え、高め合おう

「生きる力」を育成するために学校の教育活動全体を通じて、豊かな心や感性を育む教育を推進し、生徒が役割を担い学び合う機会をとらえ、思慮深く、行動力にみち、誠実に責任を全うする人間を育成する。また、学校教育全体を通して、3年間を見通した市民性の育成に努める。

特色ある教育活動「あたりまえのことを、あたりまえに ～ みんなが輝く武蔵野五中 ～ 」

- ① 人権教育を推進し、生徒が互いに尊重しあい、よりよい人間関係を主体的に築く態度を育て、生涯にわたって、集団や社会との関わりの中で個性を磨き他に貢献する態度を育てる。

- ② 確かな学力の向上と個性の伸長を図るため、数学と英語で「東京方式少人数・習熟度別指導ガイドライン」に基づく個に応じた学習指導を行うとともに、各教科で基礎的・基本的な知識・技能の習得、言語活動の充実に努める。また、総合的な学習の時間では、地域・社会・自然と人間とのよりよいかかわりについて、体験活動を通して学び、探究し、表現する能力を培う。
- ③ 心身ともに充実した学校生活を送り、望ましい生活習慣を身に付けるために、人権教育や道徳教育を通して多様な学習の機会を設け、自他の生命を大切にする指導や規範意識を高める指導を行う。また、東京オリンピック・パラリンピック等、国際大会の開催都市にふさわしい運動・スポーツに親しむ生徒を育成する。
- ④ 国語科や学校図書館サポーターと連携した読書指導を行い、年間を通した朝の10分間の読書活動の取組を通して、読書を楽しむ態度を育てる。また、各教科指導やポスターセッション等のあらゆる機会を通して、思考力・判断力・表現力の向上を図る。
- ⑤ 学区域の小学校6年生の体験授業と学校見学を実施し、学習・生活の両面で小学校と連携・協力した教育活動を推進する。
- ⑥ 近隣大学や武蔵野市国際交流協会、武蔵野市民社会福祉協議会、桜堤調理場等との連携した体験活動の充実に図り、各教科や総合的な学習の時間、学習支援教室等の一層の充実に図る。
- ⑦ 生徒会ボランティア活動や地域とともに行う美化活動・防災訓練等に積極的に取り組ませる。
- ⑧ 本校ならではの部活動の在り方を考え、部活動の適正な実施を推進する。部活動指導員の制度を活用した運動部の運営を推進し、その中で成果や課題を検証することで、部活動の充実に努める。

第六中学校



校長 若槻 善隆 副校長 田代 裕司

所在地 境3-20-10
TEL 0422(53)6311
0422(32)6140 (いとすぎ学級)
FAX 0422(55)5212
HP <http://dai6-jh.musashino-city.ed.jp/>

【主な沿革】

- 昭和 46年 市立第六中学校開校（市立第二中学校、桜堤小学校舎を借用して発足）校章制定
48年 校歌制定
49年 病虚弱学級（いとすぎ学級）開設
52年 庭球（硬式）コート完成
56年 増築校舎完成
59年 学校視聴覚教育全国大会会場
平成 5年 コンピュータ室開設
6年 市教育研究奨励校（コンピュータ）研究発表、体育館改修工事完了
7～9年 市教育研究指定校、研究発表（パソコン通信）
11～14年 文部省・郵政省マルチメディア活用研究校
18年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
21年 西校舎棟耐震補強工事完了
23年 開校40周年記念式典、太陽光発電設備工事完了
24年 文部科学省美術科研修指定校、都中学校体育連盟研究奨励校（武道：相撲）
25年 都中学校体育連盟研究奨励校研究発表（武道：相撲）・無線LANパソコン導入
26年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問、いとすぎ学級40周年記念式典
28年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事完了
29年 非常災害用トイレ設置工事完了
30年 西校舎棟外壁改修1期工事
令和 元年 西校舎棟北側サッシ等改修工事、特別支援教室設置工事

【教育目標】

1. 学校の教育目標

わたくしたちは創造する

未来に生きる人づくりをめざし たがいに心を通わせ 真実を学び教える

武蔵野の自然を愛し 生命の尊さと働くことの喜びを知り 無限の可能性を追い求めていく

○力いっぱい自分の能力を伸ばそう

○みんなで考え実行しよう

○健康で心ゆたかな人になろう

2. 学校の教育目標を達成するための基本方針

○「力いっぱい自分の能力を伸ばす」生徒を育成するために

①学習・行事等の教育活動においては少し高めの目標をもたせ、その実現に向けて励まし努力させることで個々の能力の伸長を図る。

②新学習指導要領移行期をふまえ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を充実させ基礎的・基本的な学力の定着と、学んだ内容の活用を目指し、分かりやすく、生徒の興味関心を高められる授業の工夫・改善を図る。

○「みんなで考え実行する」生徒を育成するために

- ①生徒の自主的・主体的な活動を重視し、成就感や達成感を味わわせるとともに、体験活動を基盤にして各学年が創意・工夫を図り、夢や希望のある自己の生き方を考えられる生徒の育成を推進する。
- ②一人一人の生徒が役割をもち、義務と責任の関係を考えさせるとともに、自己の考えを述べ、違う意見を認めながら、学び高め合える活動を設定する。

○「健康で心ゆたかな」生徒を育成するために

- ①「特別の教科 道徳」の授業や人権教育、教育活動全般を通して、一人一人が互いに尊重し合い、自尊感情や自己肯定感等の自他を敬愛する態度の育成を図り、あらゆる偏見や差別をなくす教育活動を推進し、いじめは許さない姿勢や態度を培わせる。
- ②基本的な生活習慣を身につけ、健康で規則正しい生活ができるよう、全教育活動を通して健全育成の推進を図るとともに、計画的に体力の向上と心身の健康の保持・増進を図る。

3. 特色ある教育活動

- ①自然や文化に触れ、産業を学んだり職業を体験したりする行事などを推進することにより、奉仕の心や社会性、責任感や望ましい勤労観とともに、豊かな心を育てる。そのために、セカンドスクールでの民泊体験や農業体験、職場訪問・職場体験、職業人の話を聞く会、卒業生の話を聞く会、生徒会主催によるボランティア活動等を実施する。
- ②学習意欲の向上や自主的学習習慣の確立を図るために、日々の学級活動での朝学習を習慣化し、各教科の宿題提出の徹底や長期休業後のテスト、授業中における国語・数学・英語の小テストにより基礎的な学力を定着させ、家庭等での自主的で自発的な学習習慣を育成する。
- ③各教科との連携を図りながら学習指導補助員や地域の人材を活用し、平日の放課後や土曜日の学習教室及び、長期休業中等の補充教室を充実させる。
- ④武蔵野赤十字病院との連携による生命尊重の視点にたった教育（医師・看護師による授業）と本校が併設する病弱学級（いとすぎ学級）との交流や情報交換を通して、命の尊厳を学ぶ。
- ⑤生徒の特性や実態に応じ保健体育と関連させ、学校全体の一校一取組の内容として陸上競技大会やマラソン大会の事前の練習等を意図的・計画的に実施し体力の向上を目指す。
- ⑥家庭や地域社会との連携を強め、地域に貢献する意欲や態度を育てるような場や機会を積極的に提供し生徒の市民性を高める。そのために、学習教室、講演会、高齢者パソコン教室、家庭科の授業における保育園等の訪問、生徒会主催の地域清掃、花活動を実施し、地域の祭りや文化祭、防災訓練への参加を推進していく。
- ⑦オリンピック・パラリンピック教育の一環として、我が国の伝統・文化を身に付けさせ、日本人としての誇りを大切にする心を育てるための行事を積極的に推進する。そのために、百人一首大会、三味線教室、着付け教室、書道教室、保健体育科による相撲の授業等を実施する。
- ⑧言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力を育成するために、年2回「読書週間」による朝読書の時間を設定し、望ましい読書習慣の形成を図り、図書委員会主催のビブリオバトルを実施し生徒の豊かな感性や情緒を育み、表現力を育成する。
- ⑨地域の学校として、小学校への出前授業、体験授業、授業参観等を実施し、小中連携を深める。

2. 学校教育指導

2 - 1 教育研究活動

① 指導課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和元年度)

名 称	構 成	内 容
1 担当者会		
教務担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の教務担当者 校長会・副校長会の代表 【20名】	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程や教務事務等に関する研修を深め、各校の実践に生かす。 各校の教務に関する情報交換を行うとともに市教委との連絡機関とする。
生活指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の生活指導担当者 校長会・副校長会の代表 【20名】	<ul style="list-style-type: none"> 各校の生活指導上の情報交換や協議を行い、具体的な課題や事例に基づき相互の研修を深める。 市教委や関係諸機関との連携を図り、児童・生徒の健全育成に資する。
進路指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校の進路指導担当者 副校長会の代表 【7名】	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導やキャリア教育の在り方についての協議を通して研修を行う。 成績一覧表調査に係る事務連絡等を中心に入試関連の情報交換を行う。
道徳教育推進教師担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の道徳教育推進教師 校長会の代表 【19名】	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育に関する取組について情報交換を行い、各校での道徳教育推進を図る。 「特別の教科 道徳」における評価を踏まえた授業づくりの研究・研修を行う。
小学校外国語等担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校の外国語等担当者 校長会の代表 【13名】	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動、外国語に関する取組について情報交換を行い、充実を図る。 学級担任がT1となって展開する授業づくりの研究・研修を行う。
2 委員会		
人権教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会の代表 【19名】	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の視点を踏まえた講演会やフィールドワーク等を行い、人権教育の理解を深める。 人権教育に係る施策の周知の場とする。
I C T教育・プログラミング教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会の代表 【19名】	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器の活用、情報モラルの理解・プログラミング教育等のI C T教育を推進するため、研修を深め、授業研究等とおした協議、情報交換を行う。
武蔵野市民科カリキュラム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会・副校長会の代表 【20名】	<ul style="list-style-type: none"> 小学校及び中学校において実施する武蔵野市民科のカリキュラムや実施方法等について検討する。
小学校社会科副読本編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の教員 校長会・副校長会の代表 【14名】	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨に基づき、令和2年度から使用する「わたしたちの武蔵野市」及び「指導の手引き」の改訂を行う。

中学校部活動あり方検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教員 ・校長会・副校長会の代表 ・生涯学習振興事業団 ・体育協会 <p style="text-align: right;">【8名】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市における中学校部活動の今後のあるべき方向性を議論する。 ・部活動指導員の導入を視野に入れ、その実施に向けた課題や影響を検討する。
3 連絡会		
学校図書館担当者・サポーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の学校図書館サポーター ・各小中学校の司書教諭等 ・校長会の代表 ・市立図書館の担当者 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学校図書館利用の支援や、学校図書館を利用した授業の補助等を行う各校の学校図書館サポーターと担当教員による協議や情報交換を行う。 ・市立図書館との連携を図る。
理科指導員連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・理科指導員 <p style="text-align: center;">【10名】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の指導内容・方法に関する情報交換、学級担任の指導力向上や効果的な理科指導員の関わり方について協議する。
4 運営委員会・実行委員会		
移動教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 <p style="text-align: center;">【13名】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日光移動教室に関する協議、連絡調整を行う。
演劇鑑賞教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 <p style="text-align: center;">【13名】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の児童にふさわしい優れた演劇を鑑賞させ、文化的体験を深めさせるための運営を行う。

② 指導課主催 教職員等研修一覧

(令和元年度)

回数：半日を1回

研修会名	概要	回数	備考
1 職層研修			
校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が進める重点的な取組や教育課題への対応に関する研修を行う。 	1	
副校長研修会		1	
新補・転補校長・副校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市に新しく着任した校長・副校長を対象に、本市が進める取組等に関する研修を行う。 	1	
主幹教諭・主任教諭任用時研修	<ul style="list-style-type: none"> ・国・都主催研究発表会等などに参加し、主幹教諭・主任教諭としての見識を高める。 	1	
2 年次研修			
若手教員育成研修(1年次) 〔初任者等研修〕	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 10回、宿泊研修(2泊3日)、課題別研修 3日 ・校内における研修(180時間以上) 		法定研修
若手教員育成研修(2年次)	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 3回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ③都研究員・教師道場発表等への参加 ・校内における研修(30時間以上) 		
若手教員育成研修(3年次)	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 2回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ・校内における研修(30時間以上) 		
中堅教諭等資質向上研修I	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修(14~22単位) ・校内における研修(教諭30単位、主任教諭18単位) <p>※研修の段階によって単位数が異なる。(半日1単位)</p>		法定研修

中堅教諭等資質向上 研修Ⅱ	・教諭等としての在職期間が20年に達した教員に対して実施		法定研修
3 専門研修			
研究主任研修	①各小中学校の研究主任対象の市主催研修 ②市研究指定校発表会への参加	1	
学校マネジメント講座 (学校リーダー育成プログラム)	・学校運営の中核を担う教員、将来学校経営を担うことができる教員の学校マネジメント能力の向上を図る。	2	
食育リーダー研修	・食に関する指導の在り方や食育リーダーの役割についての研修し、校内体制づくりについて協議や情報交換等を行う。	1	給食・食育振興財団と連携
4 教育課題研修			
小学校 理科実技研修会	・武教研理科部と連携し、理科の実験に関わる実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 体育実技研修会	・武教研体育部と連携し、体育の実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 外国語活動研修 (ビギナー)	・T1として外国語活動の授業を展開するための実践講座を行う。	1	希望者研修
小学校 外国語活動研修 (ベーシック)	・学校の実態に応じた研修を通して学級担任が展開する授業の基本とクラスルームイングリッシュ等の習得をする。	1	各学校に講師が出向いて実施
特別支援教育・教育 相談研修	・学級における児童・生徒の理解や教育相談の在り方について身に付ける。	1	希望者研修
通級指導学級・特別 支援教室等専門性向上 研修	・通常の学級における特別な支援が必要と思われる児童・生徒について、正しい理解に基づいた支援の在り方等を身に付ける。	1	希望者研修 教育支援課と共催
プログラミング教育 研修	・プログラミング教育に関する講義及び実習等	1	希望者研修
5 五市合同夏季専門研修			
学習評価、授業づくり (算数)、プログラミング教育、特別の 教科 道徳、学級経営	・5講座(夏季休業中) 武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、狛江市の 合同開催		希望者研修
6 その他			
新補・外転入者対象 研修	・武蔵野市の学校教育の特徴や個人情報の管理について理解を深める。	1	辞令伝達日に実施

③ 教育支援課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和元年度)

名 称	構 成	内 容
1 委員会		
就学支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士 ・都立特別支援学校の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人一人に最もふさわしい就学先を判断するために、必要な調査及び就学相談を実施する。
通級判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍し、かつ、聴覚障害、言語障害又は情緒障害等により特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を受ける機会を提供するため、通級指導の可否を判定する。
2 連絡会		
特別支援教育コーディネーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校のコーディネーター ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関わる研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の円滑な推進を図る。
3 協議会・運営委員会		
特別支援学級設置校連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各特別支援学級設置校校長 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の相互の連携を深め、指導内容の充実を図るため、その組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。
知的障害学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
肢体不自由学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
難聴・言語障害学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴・言語障害学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴・言語障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
病弱学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長 ・武蔵野赤十字病院長 ・病弱学級設置校校長、副校長、学級担任 ・医師、看護師、臨床心理士、保育士 	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱学級と武蔵野赤十字病院との相互の連携を深め、学級運営に関して充実を図る。
情緒障害等学級運営委員会(休会)	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒障害等学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒障害等学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。

④ 教育支援課主催 教職員等研修一覧

(令和元年度)

回数：半日を1回

研 修 会 名	概 要	回 数	備 考
専門研修			
通級指導学級・特別支援教室等専門性向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター、特別支援教育専門員、巡回指導教員（希望者）を対象に、市の現状や取組、教育支援センターの機能、発達障害の特性等について研修し、特別支援教育の充実を図る。 	1	指導課と共催

2 - 2 校内研究活動

(令和元年度)

学 校 名	研 究 主 題 等
第一小学校	笑顔でコミュニケーションをする児童の育成 ～外国語・外国語活動の授業づくりを通して～
第二小学校	論理的に考え、表現する児童の育成 ～考える音読を通して～
第三小学校	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現をとおして～
第四小学校	進んで運動に取り組む児童の育成 ～児童が『できた』を実感できる指導の工夫
第五小学校	「深い学び」の視点に立った授業の創造
大野田小学校	外国語に慣れ親しみ、すすんでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～主体的な聞き手を育てる言語活動を通して～
境南小学校	主体的に学ぶ児童の育成 ～学び合いを深める手だてを通して～
本宿小学校	運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に学ぶ児童の育成
千川小学校	考え 取り組み 振り返る 自ら学ぶ児童の育成 ～国語科「書くこと」を中心とした 伝え合う力を高める指導を通して～
井之頭小学校	論理的に考えていく児童の育成 ～プログラミング教育を通して～
関前南小学校	児童が主体的・協働的に課題解決する学習活動の工夫 ～体育科におけるボール運動系の授業改善を通して～
桜野小学校	深い学びの実現 ～説明的文章の指導を通して～
第一中学校	思考力・判断力・表現力の育成 ～言語活動の充実を通して～
第二中学校	道徳科の指導と評価
第三中学校	新学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を 柱として「主体的に学ぶ生徒の育成 ～ICT機器の活用をとおして～」
第四中学校	「特別の教科 道徳」の指導と評価のあり方における研修 等
第五中学校	学習評価と授業改善Ⅳ 新学習指導要領に対応した各教科や道徳の実践的な評価
第六中学校	自己の考えを広げ、深める学びを目指した対話的な学習の実現 ～教科を超えた学習の基礎づくりのために～

2 - 3 研究指定校等一覧

◇ 武蔵野市（令和元年度）

① 教育課題研究開発校（継続2校、新規1校）

学校名	研究課題	研究主題	年次
第一小学校	英語教育	笑顔でコミュニケーションをする児童の育成 ～外国語・外国語活動の授業づくりを通して～	2-2
大野田小学校	英語教育	外国語に慣れ親しみ、すすんでコミュニケーションを図ろうとする 児童の育成 ～主体的な聞き手を育てる言語活動を通して～	2-2
桜野小学校	深い学びの 実現	深い学びの実現 ～説明的文章の指導を通して～	2-1

② 教育研究奨励校（継続2校）

学校名	教科等	研究主題	年次
井之頭小学校	プログラミング教育	論理的に考えていく児童の育成 ～プログラミング教育を通して～	2-2
関前南小学校	体育科	児童が主体的・協働的に課題解決する学習活動の工夫 ～体育科におけるボール運動系の授業改善を通して～	2-2

③ モデル校・その他

事業名	対象校
食育モデル校	千川小学校
武蔵野市民科実践モデル校	境南小学校
部活動指導員導入モデル校	第四中学校、第五中学校

◇ 東京都・国 等（令和元年度）

事業名	対象校
オリンピック教育推進校（都）	市立小中学校全校
プログラミング教育推進校（都）	井之頭小学校
コーディネーショントレーニング地域拠点校（都）	大野田小学校
愛鳥モデル校（都）	井之頭小学校
学習指導実践研究協力校（国立教育政策研究所）	第三小学校

2-4 教育推進室

平成 27 年 4 月、教育推進室を開室しました。5 つの機能の他に、「開かれた学校づくり協議会」の運営、ティーチングアシスタント事業、サポートスタッフ事業、「地域コーディネーター」の各小中学校への配置、教員の多忙化解消のための「副校長等事務補助臨時的任用職員」の配置など多くの取組を行っています。また、平成 30 年 4 月から教育アドバイザー事業を拡充し、学校経営に関する校長等への支援も行っています。

5 つの機能他	主 な 内 容
相 談 ・ 支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対する相談・支援 ・教職員に対する研究や研修等の協議をもつ場の提供 ・学級崩壊やいじめ等への緊急対応支援 ・学校経営に関する校長等への支援
研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修の実施支援 ・臨時的任用教員（産休育休代替）の指導・支援 ・職層研修の実施支援 ・重点事業や教育課題に関する委員会等の実施支援
教 育 情 報 収 集 ・ 発 信	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と学校の協働通信」の発行 ・学校情報システム等を活用した教育情報の発信 ・教科書展示・閲覧 ・各種教育関係資料（指導資料・研究紀要・各種冊子・学校関係資料・パンフレット等）の収集・整理・展示
調 査 ・ 研 究	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が抱える当面の教育課題に対する調査・研究 ・授業改善や児童・生徒理解に資する調査・研究
ネットワーク構築 コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援協力者リストの作成及び学校への紹介 ・地域コーディネーターの活躍促進 ・地域の教育力による学校教育の支援
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくり協議会代表者会の開催 ・教科書・指導書・DVD教材等の貸出・在庫管理 ・学校共有貸出備品の購入・貸出・在庫管理 ・学生ボランティアの SS・TA 配置による学校支援 ・教員の多忙化解消のための事務補助臨時的任用職員の配置

① 研修

研修	種別	人数	内容	担当等その他
若手教員 育成研修の 実施支援	訪問研修 I (1 年目)	21	新規採用者研修・期限付任用教員任用時研修（年間 5 回、1 学期 2 回、2 学期 2 回、3 学期 1 回）	教育アドバイザー 5 回

	訪問研修Ⅱ (2年目)	18	訪問研修Ⅰ修了者 (年間3回、1学期1回、2学期1回、3学期1回)	教育アドバイザー2回 指導主事1回
	訪問研修Ⅲ (3年目)	13	訪問研修Ⅱ修了者 (年間3回、1学期1回、2学期1回、3学期1回)	教育アドバイザー 随時
教員の育成 研修の実施	特別研修等	7	学校長の要請に応じての訪問研修 教育委員会主催のセンター研修等 の講師	教育アドバイザー 随時
	臨時的任用 教員(産休 育休代替) の研修	11	年度始め等の聞き取り・授業観察を 基に、その後の訪問研修計画の作成 随時、要請・状況に応じて訪問研修 の実施。	教育アドバイザー 随時

(令和元年7月末日現在)

② 「地域と学校の協働通信」の発行(年3回発行)

号	発行日(予定)
1号	令和元年7月17日
2号	〃 9月中旬
3号	〃 2年2月中旬

③ 開かれた学校づくり協議会

(令和元年度)

	開催月日	備 考
委嘱式	5月29日(水)	・各校ごとに年間3回以上の協議会を開催
第1回 代表者会	10月23日(水)	
第2回 代表者会	1月28日(火)	

④ 地域コーディネーター

(令和元年度)

	開催月日	備 考
委嘱式	5月29日(水)	・年間の取組事業に応じて、学校及び地域別に、 別途、臨時連絡会を開催予定
第1回 連絡会	6月21日(金)	
第2回 連絡会	9月20日(金)	
第3回 連絡会	2月18日(水)	

2-5 武蔵野市立小中学校教育研究会

◎目標・活動方針・事業計画

今年度は、平成27年3月に策定された「第二期武蔵野市学校教育計画」の結びの年になります。その内容は、「Ⅰ『生きる力』を育む教育、Ⅱ学びの質を高める教育環境、Ⅲ学校と地域が協働した教育」を施策体系の3つの柱として、8つの「施策の方向性」と28の「施策」が掲げられるものとなっており、「知性・感性を磨き自ら未来を拓く武蔵野の教育」という基本理念の実現を図る年です。

新学習指導要領には、人生を主体的に切り拓くための学びを通して、より自立的に生きる力を育もうとする姿勢が示されています。小学校では来年度、中学校では令和3年度の全面実施に向けて、教職員の自己啓発が求められています。

これらのことを受け、武蔵野市立小中学校教育研究会では、それぞれの専門部会において、前年度までの成果と課題を踏まえた研究テーマのもと、これからの課題に対応した研究の充実を図ることが重要となります。また、武蔵野市における未来の学校教育のあり方として、市立小中学校の教職員が共に学ぶ場である本教育研究会は、校種を超えて相互理解を深め、小中学校の連携を一層強化することができる貴重な場でもあります。

本研究会は、昭和25年の創立以来、武蔵野市及び武蔵野市教育委員会の多大なる御支援・御指導をいただきながら、多くの教職員の努力と地道な研究の実践の積み重ねにより、多くの成果を上げ、今日に至っています。

今年度も、小学校と中学校の連携を今まで以上に深め、地域の教育力を積極的に活用して学校教育を推進していきます。子どもたちが、知性・感性を一層磨き、人生と未来を切り拓いていく力を身に付けてくことができるよう、以上のことを踏まえ、今年度の目標・活動方針・事業計画を設定します。

1 目標

「豊かな知性と感性をもち、進んで学ぶ子どもを育てよう」

2 活動方針

- ◎基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲を向上させ豊かな学びのための基盤づくりをしよう。
- ◎子どもたちに知的好奇心を喚起するための魅力ある教育活動を進めよう。
- ◎豊かな教育資源を活用し、地域と協働した教育実践を推進しよう。

3 事業計画

(令和元年度)

研究活動	文化活動	広報活動
○ 専門部 (8回) 小学校8回、中学校5回	○ 講演会(9月)	○ 武教研 7月発行
○ 管外視察(公募)	○ 関連事業	○ 研究紀要 3月発行
○ 研究実践奨励	・ 連合音楽会(小中別)	「平成31年度
(グループ及び個人)	・ 音楽鑑賞教室(小中別)	武蔵野教育」
○ 研究発表会(2月)	・ 美術展(小中合同)	
	・ 書き初め展(小中合同)	
	○ 文集「けやき」発行	

2 - 6 教科用図書及び副読本

① 小学校教科用図書（平成 27 年度～令和元年度使用）

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	生活	せいかつ	光村
書写	書写	教出	音楽	小学生の音楽	教芸
社会	新しい社会	東書	図工	図画工作	日文
地図	楽しく学ぶ小学生の 地図帳	帝国	家庭	新しい家庭	東書
算数	新しい算数	東書	保健	みんなの保健	学研
理科	たのしい理科	大日本	道徳	新しい道徳	東書

※平成 30 年度より、「特別の教科 道徳」が開始した。

② 中学校教科用図書（平成 28～令和元年度使用）

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	音楽(一般)	中学生の音楽	教出
書写	中学書写	光村	音楽(器楽)	中学生の器楽	教出
社会(地理)	社会科 中学生の地理	帝国	美術	美術	日文
社会(歴史)	新しい社会 歴史	東書	保健体育	中学保健体育	学研
社会(公民)	新しい社会 公民	東書	技術・家庭(技)	技術・家庭 技術分野	開隆堂
地図	新しい社会 地図	東書	技術・家庭(家)	技術・家庭 家庭分野	開隆堂
数学	新しい数学	東書	英語	NEW CROWN	三省堂
理科	新しい科学	東書	道徳	新しい道徳	東書

※令和元年度より、「特別の教科 道徳」が開始した。

③ 副読本（令和元年度使用）

わたしたちの武蔵野市	小学校 4 年	社会科
武蔵野市の地図	小学校 4 年	社会科
わたしたちの東京都	小学校 3・4 年	社会科
東京都の地図	小学校 3・4 年	社会科
武蔵野市のいま・むかし	小学校 1～6 年	全教科
わたしたちの安全チャオ	小学校 1～6 年	保健等
体育の学習	小学校 1～6 年	体育
私たちの安全	中学校 1 年	保体等
新しい体育実技	中学校 1 年	保体
中学校体育実技	中学校 2・3 年	保体

2 - 7 特別支援教育

① 特別支援学級・特別支援教室

令和元年5月1日現在

	設置校	学級数	児童・生徒数	連絡先
1. 知的障害	第三小学校 ひまわり学級	2学級	11人	43-0571
	大野田小学校 むらさき学級	4学級	24人	51-0513
	境南小学校 けやき学級	3学級	22人	34-8371
	第四中学校 群咲学級	3学級	24人	51-7677
2. 難聴	桜野小学校 こだま学級（通級）	1学級	8人	54-8655
	第一中学校 エコールーム（通級）	1学級	9人	51-1136
3. 言語障害	桜野小学校 こだま学級（通級）	3学級	50人	54-8655
4. 肢体不自由	大野田小学校 いぶき学級	1学級	3人	51-0513
	第四中学校 いぶき学級	1学級	1人	51-7675
5. 病弱（院内）	境南小学校 いとすぎ学級	1学級	0人	32-6140
	第六中学校 いとすぎ学級	1学級	1人	32-6140
6. 情緒障害等	第四小学校 はなみずき教室	特別支援 教室	88人	22-1443
	井之頭小学校 かわせみ教室		67人	51-7500
	桜野小学校 こぶし教室		66人	53-5651
	第二中学校 こぶし学級（通級）		2学級	23人

※特別支援教室は学級編成をしない。

② 特別支援教育の推進

通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童・生徒及び、特別支援学級児童・生徒の指導の充実、学習環境の整備などを進めるとともに理解啓発を行います。

武蔵野市における特別支援教育の推進イメージ

小・中学校の取組

特別支援教育推進体制の構築

○特別支援教育コーディネーター連絡会

各学校で特別支援教育推進の中心となっている教員（特別支援教育コーディネーター）を対象として、研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の充実につなげます。

○特別支援学級設置校連絡協議会・運営委員会

特別支援各学級の指導内容・方法について情報交換をするとともに、課題や改善について協議します。

専門性の確保

○専門家スタッフ

発達障害を専門とする大学教授等が小・中学校を年間6～8回訪問。授業観察を行い、対象の子どもの行動の意味や指導上の工夫などを学校に助言します。

○派遣相談員

教育支援センターの臨床心理士を全小・中学校に週1回派遣。学級担任やコーディネーターに助言を行うとともに、子どもたちや保護者からの相談に応じます。

○都スクールカウンセラー

不登校・いじめ問題の解消や防止のため、全小・中学校に週1回配置されています。

○スクールソーシャルワーカー

3名配置。子どもたちの抱える問題の解決を図るため、学校、家庭、地域、関係機関の連携・調整を行います。

○校内委員会の運営

特別支援教育コーディネーターを中心に、専門家スタッフの助言や保護者の意見を取り入れながら、具体的な支援策を協議し、学校全体の協力体制を組みます。

○特別支援教育コーディネーター

各学校で2名以上の教員を指名。関係機関との連絡調整、保護者の相談窓口、担任の先生への支援など特別支援教育の中心となって活動しています。

○教員の専門性の向上

発達障害のある子どもの特性の理解や指導・支援の方法などを研修し、理解を深めています。

○個別指導計画・学校生活支援シート（個別の教育支援計画）

対象となる子どもの教育的ニーズに応じた指導を行うため、学校と保護者が協力して計画・シートを作成します。

特別支援学級（固定）の運営

学習面や対人関係など個に応じた指導を毎日行います。知的障害（小3・中1校）、肢体不自由（小・中各1校）、病弱（小・中各1校）の各学級を運営。個別指導や小集団指導に加えて通常学級との交流を進めています。

一人一人の教育的ニーズに応じた支援

○サポートスタッフ（指導課教育推進室）

臨床心理士等を目指す大学生・大学院生が人との関わり方に困難を抱える子どもに対して、授業中の個別支援や、休み時間、給食、清掃の時間の支援を行い、学校生活への適応を図ります。

○ティーチングアシスタント（教育推進室）

教職志望の大学生が子どもたちの学習支援や教員の指導補助を行います。

○通級指導学級・特別支援教室

通常は学籍のある学校（学級）で学習している子どもが、週1回程度、決められた日時に通い、個別指導や小集団指導を受ける学級です。難聴（小・中各1校）、言語障害（小1校）、情緒障害等（小3拠点校、中1校）を設置。

○個別支援教室

在籍学級で一斉指示による学習に困難さを示す子どもを対象に、別室で指導員が個に応じた指導をします。（全小学校設置）

連携体制の構築

○都立特別支援学校との連携

センター的機能による巡回相談、助言、講師派遣を受けています。

○交流及び共同学習

特別支援学級と通常の学級との交流促進や副籍制度の充実に取り組んでいます。

○幼・保・小の連携

入学前の子どもの情報を学校へ引き継ぐ就学支援シートを活用するとともに、就学前後の相談体制の充実を図ります。

子ども・保護者のニーズ

2 - 8 教育相談機関

教育支援センターは、幼児から 18 歳位までの児童・生徒とその保護者等を対象に、子育て、学校生活、心身の発達に関する相談等を行うほか、市立小中学校における不登校児童・生徒への早期対応を図るため、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問・学校訪問や教育相談員による学校派遣相談などを行う専門的機関です。

また、センター内には不登校児童・生徒のための適応指導教室「チャレンジルーム」を設置し、学校復帰に向けての学習支援、生活・集団活動支援を行っています。

帰国・外国籍・国際結婚家庭の児童・生徒を対象とする相談は、帰国・外国人教育相談室が行っています。

①名称・所在地

教育支援センター 武蔵野市吉祥寺北町 4-11-37
電話 60-1899

②相談支援

- ア 主な内容
 - ・子育てに関すること
 - ・精神や身体の発達のこと
 - ・性格行動に関すること
 - ・学校生活に関すること
 - ・就学・転学に関すること
- イ 支援の方法
 - ・保護者への面接、アドバイス
 - ・お子さんへの遊戯療法、カウンセリング等
 - ・必要に応じて嘱託医との面談や各種心理検査
 - ・他の専門機関の紹介
- ウ 対象
 - ・市内の幼児、児童、生徒および保護者他
- エ 相談日時
 - ・月曜日～金曜日（祝日を除く） 午前9時～午後5時

③訪問支援

- ア 家庭を訪問しての支援
 - ・スクールソーシャルワーカーや適応指導教室指導員が、不登校や引きこもりの児童・生徒の家庭を訪問し、相談支援にあたります。
- イ 学校を訪問しての支援
 - ・週1回、当センターの教育相談員を市立小・中学校へ派遣し、相談支援を行っています。
 - ・市立小・中学校からの派遣依頼、その他必要に応じ、スクールソーシャルワーカーによる学校派遣相談支援を行っています。
- ウ 対象
 - ・原則として、武蔵野市立小中学校の児童・生徒です。

④適応指導教室（チャレンジルーム）

- ア 内容
 - ・学習および生活の指導
 - ・集団生活の指導
 - ・所属校と連携した復帰支援
- イ 対象
 - ・原則として、武蔵野市在住の不登校児童・生徒
- ウ 相談日時
 - ・月曜日～金曜日（祝日を除く） 午前9時～午後5時
 - ＊長期休業中も活動しています。

⑤スタッフ

臨床心理士、社会福祉士、教員有資格者（教員経験者含む）、嘱託医（精神科医）

⑥相談取扱数 「武蔵野市の教育相談 平成30年度業務報告」に記載

⑦帰国・外国人教育相談室

ア 所在地・電話

武蔵野市吉祥寺北町 5-11-41
(第四中学校学習センター 3階)

TEL・FAX 54-8626

イ 相談日時

- ・相談日 月曜日～金曜日 (祝日を除く)
- ・時間 午前 10 時～午後 5 時
(来室・電話・FAX も可)

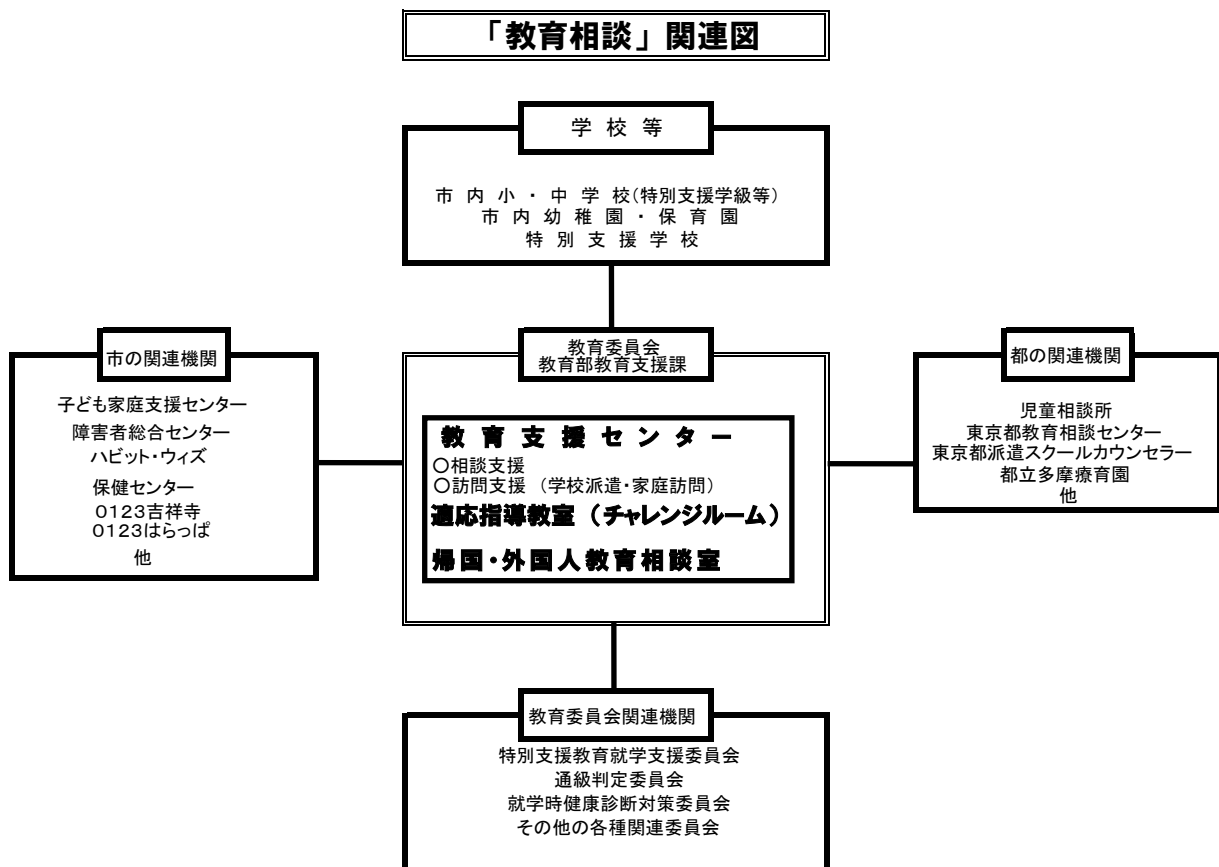
ウ 相談内容

- ・言語や文化にかかわる相談
- ・日本の学校生活にかかわる相談 その他

エ 相談活動

- ・日本語指導・・・・・・・・日本語指導を必要とする児童・生徒の在籍校に指導者を派遣し、個別指導を行う。
- ・すてっぷルーム・・・・・・・・帰国・外国籍および国際結婚家庭の児童・生徒への学習支援を通して、学校生活に適応することを目的に、毎週水曜日の放課後に自主学習のサポートを行う。
- ・言語支援・・・・・・・・必要に応じて言語サポーターを派遣し、児童・生徒の母語で学校生活を支援する。
通訳(保護者会・説明会・面談など)
翻訳(学校配布物・各種証明書・保健関係書類など)
- ・情報提供・・・・・・・・編入学時、学校及び保護者に関連情報の提供を行う。

⑧教育相談に関わる機関



3. 教育活動

3 - 1 学校行事等日程一覧

(令和元年度)

小学校	運動会 体育大会	音楽会・学芸会 学習発表会 文化発表会	展覧会 文化祭	連合 音楽会	移動教室 (日光)	オケスト 鑑賞教室	演劇 鑑賞教室	道徳授業公開 と地域懇談会	その他
第一小学校	5/25(土)	11/15(金) ～11/16(土)		11/29 (金)	6/10(月) ～6/12(水)	5/9 (木)	7/12 (金)	10/19(土)	研究発表会 1/24(金)
第二小学校	5/25(土)		11/15(金) ～11/16(土)		6/10(月) ～6/12(水)			9/14(土)	
第三小学校	5/25(土)		11/15(金) ～11/16(土)		6/26(水) ～6/28(金)			10/19(土)	
第四小学校	10/5(土)	12/6(金) ～12/7(土)			6/26(水) ～6/28(金)			5/18(土)	
第五小学校	5/25(土)		11/15(金) ～11/16(土)		6/12(水) ～6/14(金)			10/19(土)	
大野田小学校	6/1(土)	11/8(金) ～11/9(土)			6/10(月) ～6/12(水)			10/19(土)	研究発表会 1/24(金)
境南小学校	5/25(土)		11/7(木) ～11/9(土)		6/24(月) ～6/26(水)			10/19(土)	
本宿小学校	5/25(土)	11/15(金) ～11/16(土)	1/24(金) ～1/25(土)		6/24(月) ～6/26(水)			10/19(土)	
千川小学校	5/25(土)	11/15(金) ～11/16(土)			6/19(水) ～6/21(金)			9/14(土)	
井之頭小学校	5/25(土)	11/8(金) ～11/9(土)			6/17(月) ～6/19(水)			9/14(土)	研究発表会 11/22(金)
関前南小学校	5/25(土)	関前場所 10/19(土)	11/15(金) ～11/16(土)		6/26(水) ～6/28(金)			1/25(土)	研究発表会 11/1(金)
桜野小学校	5/25(土)		11/7(木) ～11/9(土)		6/18(火) ～6/20(木)			10/5(土)	

中学校	運動会 体育大会	文化発表会 学習発表会 音楽会	展覧会 文化祭	連合 音楽会	修学旅行 (京都・奈良等)	オケスト 鑑賞教室	演劇 鑑賞教室	道徳授業公開 と地域懇談会	その他
第一中学校	6/8(土)	一中フェスタ 10/19(土)	合唱祭 3/7(土)	1/31 (金)	5/17(金) ～5/19(日)	5/7 (火)	7/5 (金)	9/14(土)	
第二中学校	9/28(土)	音楽祭 10/31(木)	合唱祭 10/31(木)		5/16(木) ～5/18(土)			6/8(土)	開校70周年 11/16(土)
第三中学校	6/8(土)	くぬぎ祭 10/25(金) ～10/26(土)	合唱祭 3/12(木)		5/26(日) ～5/28(火)			9/14(土)	
第四中学校	6/8(土)	四中祭 10/26(土)	合唱祭 3/10(火)		5/23(木) ～5/25(土)			4/20(土)	
第五中学校	6/8(土)	文化発表会 10/18(金)	合唱祭 10/18(金)		5/27(月) ～5/29(水)			10/26(土)	
第六中学校	5/18(土)	学習発表会 3/7(土)	合唱祭 10/17(木)		6/3(月) ～6/5(水)			6/15(土)	

3 - 2 校外学習

(令和元年度)

	目的	場所・時期	対象	その他
小学校 移動教室	<ul style="list-style-type: none"> 日光の歴史、地形、交通、名所、植物などについて知る。 集団生活を通して、友情を深める。 自然に親しみ、心身を鍛え、生活を豊かにする。 	【日光】 第一期 6/10～6/12 第二期 6/12～6/14 第三期 6/17～6/19 第四期 6/18～6/20 第五期 6/19～6/21 第六期 6/24～6/26 第七期 6/26～6/28	小学校 6年生	
中学校 修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> 日本の古都、京都、奈良を見学することにより、日本の歴史や文化について理解を深める。 集団生活を通して、自主性、協調性をはぐくむとともに集団行動のきまりや公衆道徳を身に付ける。 	【京都・奈良】 ・一中 5/17～5/19 ・二中 5/16～5/18 ・三中 5/26～5/28 ・四中 5/23～5/25 ・五中 5/27～5/29 ・六中 6/3～6/5	中学校 3年生	
小・中学校 連合音楽会	<ul style="list-style-type: none"> 日常の学習の成果を発表し、互いの演奏を聞きあう。 音楽の楽しさ、美しさを味わい、音楽を愛好する心情を育てる。 	【市民文化会館】 小学校 11/29 中学校 1/31 午後	小学校 5年生 若しくは 6年生 中学校 2年生	
小・中学校 オーケストラ 鑑賞教室	オーケストラの演奏を聴き、それぞれの楽器の演奏法や指揮者の役割などを学習するとともに、曲の美しさを味わう。	【市民文化会館】 小学校 5/9 午後 中学校 5/7 午後	小学校 6年生 中学校 3年生	
小・中学校 演劇 鑑賞教室	実際の演劇を鑑賞することにより、人物の動作やセリフを学習するとともに、演劇の楽しさを味わう。	【市民文化会館】 小学校 7/12 午後 中学校 7/5 午後	小学校 3年生 中学校 1年生	
小・中学校 書初展 美術展	互いの作品の成果を発表し合うことで、作品を正しく鑑賞する能力や態度を養い、子どもたちの意欲を高める。	【市民文化会館】 書初展 1/25～1/27 美術展 1/31～2/4	全小・中学生	美術展には、富山県南砺市利賀村、長野県安曇野市豊科町からの作品も展示される。
南砺市 利賀村訪問	利賀村の児童や人々との交流を深めるとともに自然のすばらしさを知る。	【富山県 南砺市利賀村】 7/23～7/26	小学校 5・6年生 希望者 (定員15名)	9/4～9/6には、利賀小学校の5・6年生が本市に来訪。ホームステイと各小学校に体験入学する。

3 - 3 セカンドスクール

市立小学校5年生、市立中学校1年生全員を対象に、セカンドスクールを実施しています。セカンドスクールとは、普段の学校生活（ファーストスクール）ではできないような体験学習を、授業の一部として自然豊かな農山漁村に長期滞在して行うものです。平成4年度からの試行を経て、平成7年度から全小学校が、平成8年度からは全中学校が実施しています。また、小学校4年生を対象にした「プレセカンドスクール」も試行を経て、平成17年度から本格実施となり、セカンドスクールにつながる体験活動に大きな成果をあげています。市内小中学校全校による本格実施20周年を迎えた平成27年度には、これまでの取組が評価され「2015年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）」を受賞しました。

令和元年度の実施期間は、小学校で6泊7日～7泊8日（プレセカンドスクールは2泊3日）、中学校で4泊5日です。各学校とも特色ある教育活動として、実施場所や活動内容など、創意工夫を図り、毎年充実させています。

①目的

- ・自然との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな情操や感性をはぐくむとともに、子どもたちの知的好奇心や探究心を喚起し、課題解決への意欲や態度を培う。
- ・長期にわたる宿泊体験を通し、生活自立に必要な知識や技能を身に付けるとともに、子どもたちの豊かな人間関係を育てる。
- ・子ども同士の協働により、自主性や協調性を育てるとともに、実施地の方々との交流を通じて、進んで他者と関わる力を培う。

②これまでの経緯

平成 4年度	長野県八坂村で、夏季山村生活体験学習（6泊7日）を小学校6年生、中学校1年生の30名で実施
平成 5年度	岩手県遠野市で、夏休みに山村生活体験教室（12泊13日）を小学校4年生から中学校2年生100名で実施
平成 6年度	岩手県遠野市において、小学校5年生、中学校1年生が12泊13日で実施
平成 7年度	小学校全13校が学期中に実施（岩手県遠野市、長野県高遠町、富山県利賀村、新潟県小国町、山梨県中富町、山梨県高根町）。長野県豊科町において、中学校1年生70名（中学校6校の代表）が夏季休業中に6泊7日で実施
平成 8年度	全小・中学校が学期期間中に実施
平成15年度	「プレセカンドスクール」を小学校4校にて試行実施
平成16年度	「プレセカンドスクール」を小学校10校にて試行実施
平成17年度	全小学校が「プレセカンドスクール」を実施

③主な体験活動

- ・ 自然体験（周辺自然観察、登山等）
- ・ 社会体験（田植え、稲刈りなどの農業体験等）
- ・ 生活・文化体験（笹団子、ちまき等の郷土食作り、民宿・農家生活、紙すき等の伝統工芸体験等）
- ・ その他（学校交流、ボランティア活動）

令和元年度 セカンドスクール・プレセカンドスクール日程表

(平成31年3月末現在)

種別	学校名	実施日		実施場所	現地宿舎
小学校セカンドスクール	第一小学校	9月25日(水)～10月1日(火)	6泊7日	新潟県魚沼市	民宿
	第二小学校	9月29日(日)～10月6日(日)	7泊8日	富山県南砺市利賀村	民宿
	第三小学校	9月24日(火)～9月30日(月)	6泊7日	新潟県南魚沼市	民宿
	第四小学校	5月30日(木)～6月5日(水)	6泊7日	長野県飯山市	民宿
	第五小学校	9月12日(木)～9月18日(水)	6泊7日	新潟県南魚沼市	民宿
	大野田小学校	9月19日(木)～9月25日(水)	6泊7日	長野県飯山市	民宿
	境南小学校	9月18日(水)～9月24日(火)	6泊7日	長野県飯山市	民宿
	本宿小学校	9月24日(火)～9月30日(月)	6泊7日	新潟県南魚沼市	民宿
	千川小学校	9月19日(木)～9月25日(水)	6泊7日	新潟県南魚沼市	民宿
	井之頭小学校	9月25日(水)～10月1日(火)	6泊7日	長野県飯山市	民宿
	関前南小学校	10月1日(火)～10月7日(月)	6泊7日	長野県飯山市	民宿
桜野小学校	9月22日(日)～9月28日(土)	6泊7日	長野県飯山市	民宿	
中学校セカンドスクール	第一中学校	9月26日(木)～9月30日(月)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第二中学校	5月21日(火)～5月25日(土)	4泊5日	新潟県十日町市松之山	農家2泊、旅館2泊
	第三中学校	9月30日(月)～10月4日(金)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル2泊
	第四中学校	9月25日(水)～9月29日(日)	4泊5日	群馬県利根郡みなかみ町	キャンプ1泊、農家1泊、旅館2泊
	第五中学校	9月17日(火)～9月21日(土)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第六中学校	9月4日(水)～9月8日(日)	4泊5日	長野県安曇野市	農家1泊 公営宿泊施設3泊
小学校プレセカンドスクール	第一小学校	9月18日(水)～9月20日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	第二小学校	10月7日(月)～10月9日(水)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	第三小学校	6月5日(水)～6月7日(金)	2泊3日	群馬県利根郡片品村	民宿
	第四小学校	9月11日(水)～9月13日(金)	2泊3日	群馬県利根郡片品村	民宿
	第五小学校	9月25日(水)～9月27日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	大野田小学校	6月19日(水)～6月21日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	境南小学校	10月2日(水)～10月4日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	本宿小学校	10月2日(水)～10月4日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	千川小学校	10月9日(水)～10月11日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	井之頭小学校	10月9日(水)～10月11日(金)	2泊3日	東京都西多摩郡奥多摩町	民宿
	関前南小学校	9月18日(水)～9月20日(金)	2泊3日	東京都西多摩郡檜原村	民宿
桜野小学校	9月12日(木)～9月14日(土)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル	

4. 武蔵野市奨学金

武蔵野市奨学金は、高等学校等に在学し、学業を継続する意欲がありながら、経済的理由により修学することが困難な生徒に対して修学上必要な資金を支給する市独自の制度です（武蔵野市奨学金支給条例・平成 28 年度廃止）。

受給資格は、市内に半年以上居住し、他からの奨学金を支給又は貸与されていない等で、奨学生の決定は武蔵野市奨学金審議会で行います。

この武蔵野市奨学金制度が、昭和 46 年に貸与から給付に改正されてから、平成 31 年 3 月末までの本制度の奨学生は 880 名を超えています。

平成 30 年度 奨学金支給状況

支給人数：25 人 支給額：10,200 円／月額 支給総額：3,060,000 円

5. 高等学校等修学支援事業

5 - 1 高等学校等入学準備金

教育を受ける機会の充実を図ることを目的とし、高等学校等の入学準備に必要な費用（学用品の購入など）について経済的援助を入学前に行う制度です。就学援助の認定要件を満たしている方が対象です（平成 28 年度より）。

平成 30 年度 高等学校等入学準備金支給状況

支給人数：111 人 支給額：60,000 円／1 人 支給総額：6,660,000 円

5 - 2 高等学校等修学給付金

高校生のいる世帯に対する教育費（授業料以外）の負担軽減を目的とした給付金制度です。東京都奨学給付金制度の対象である生活保護受給世帯・市民税非課税世帯を除いた一定所得以下の世帯が対象です（平成 29 年度より）。

平成 30 年度 高等学校等修学給付金支給状況

支給人数：261 人 支給額：50,000 円／1 人 支給総額：13,050,000 円

6. 就学援助費・特別支援教育就学奨励費

6 - 1 就学援助費

教育基本法、学校教育法等に基づき、要保護児童・生徒並びに、経済的な理由により就学することが困難と市教育委員会で認定した準要保護児童・生徒の保護者に対し、学校教育活動に必要な費用（学用品費、校外活動費、給食費等）の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るものです。

平成 30 年度 就学援助費支給状況（給食費合算）

<小学校> 認定者数：565人 支給総額：36,757,727円

<中学校> 認定者数：376人 支給総額：34,366,481円

※認定者数には、次年度入学児童生徒への新入学学用品費の入学前支給を実施した人数を含む。

6 - 2 特別支援教育就学奨励費

教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律等に基づき、特別支援学級に通う児童・生徒の保護者に対し、教育費の一部（通学費、学用品費等）を補助することにより保護者の経済的負担を軽減するものです。

平成 30 年度 特別支援教育就学奨励費支給状況（給食費合算）

<小学校> 支給人数：37人 支給総額：1,089,142円

<中学校> 支給人数：12人 支給総額：734,670円

7. 学校保健・体育

7 - 1 学校保健

①定期健康診断

児童・生徒及び教職員の健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、毎年定期的に行っています。

ア. 児童・生徒の健康診断

- ・ 身体計測、視力・聴力検査
- ・ 心臓検診
- ・ 腎臓検診
- ・ 結核検診
- ・ 脊柱側弯症検診
- ・ 四肢の状態検査
- ・ 学校医・学校歯科医による検診
(眼科・耳鼻咽喉科・内科・歯科)

イ. 教職員の健康診断

- ・ 定期健康診断（特定健診含む）
- ・ 消化器系検診
- ・ 結核検診
- ・ B型肝炎予防接種

②就学時健康診断

就学予定者の心身の状況を的確に把握し、就学に当たって、保健上必要な勧告、助言を行うとともに、適正な就学を図ることを目的に、毎年10月から11月の間に行っています。この健康診断を円滑に実施するため、市立学校長、養護教諭、市教育委員会の職員等により就学時健康診断対策委員会を設置し、実施内容・方法等について検討を行っています。

③武蔵野市学校保健委員会

武蔵野市学校保健委員会は、市立学校長、副校長、保健主任、養護教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTAの委員による各学校保健委員会と、その代表者、多摩府中保健所、市健康課、市教育委員会の委員による幹事会で構成されています。各学校保健委員会は、市教育委員会の基本方針に基づき、各学校の実情に応じた活動方針を定め、その方針に沿って学校保健に関する活動を行い、幹事会は、各学校の児童及び生徒の健康づくりの推進並びに学校保健活動の充実及び発展を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を検討します。

- ア. 学校保健の指導、研修に関する事。
 - イ. 学校保健の環境整備に関する事。
 - ウ. 学校保健の疾病予防対策に関する事。
 - エ. 学校保健の施設、設備に関する事。
 - オ. 学校保健の研究指定校に関する事。
 - カ. 各学校保健委員会の活性化に関する事。
 - キ. その他学校保健運営に関し、教育委員会が必要と認める事項
- 委員会総会は年1回、また各学校保健委員会は必要に応じて開催されています。

7 - 2 学校体育

① 学校プール

学校プールは市立小中学校の児童生徒に対し、教育課程に基づき水泳に対する理解と関心を深め、その基礎技術を修得させるとともに体位、体力の向上を図ることを目的としています。この学校プールでは、各校から推薦された救命技能認定証等を持つプール水泳指導補助員を配置し、教員と連携して万全な体制での実施に努めています。

② 市内中学校総合体育大会

市内公立中学校の生徒が、各種競技の正しい知識と技術を修得し、体育に対する興味と関心を深め健全な心身を鍛えるとともに、望ましい社会性を身に付けるために開催しています。この体育大会を円滑に実施するため、校長、副校長、教諭、市教委の委員によって、市内中学校総合体育大会運営委員会を設置し、競技種目、実施日程、大会運営等について協議を行っています。

令和元年度 市内中学校総合体育大会日程

競技種目	期 日	予定会場
バスケットボール	8月21日（水）～ 23日（金）	武蔵野総合体育館メインアリーナ
バレーボール	9月1日（日）	武蔵野総合体育館メインアリーナ
バドミントン	8月18日（日）～ 20日（火）	武蔵野総合体育館メインアリーナ
卓球	8月26日（月） 27日（火）	武蔵野総合体育館サブアリーナ
剣道	8月18日（日）	武蔵野総合体育館サブアリーナ
サッカー	8月16日（金）～ 18日（日）	第一中学校グラウンド、第五中学校グラウンド 成蹊大学けやきグラウンド
野球	8月20日（火）～25日（日）	武蔵野軟式野球場
ソフトボール	中止	-
ソフトテニス	8月28日（水） 29日（木）	武蔵野庭球場
テニス	11月3日（日） 10日（日）	同上
水泳	中止	-
陸上競技	9月22日（日）	成蹊大学けやきグラウンド

